

厚生労働省北海道労働局発表
令和5年10月16日（月）

担 当	厚生労働省 北海道労働局職業安定部職業安定課 課長 小林 一哉 課長補佐 村山 光明 電話 011-709-2311（内線 3674）
--------	---

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の 取組にかかる総合評価について（令和4年度）

全国の労働局・ハローワークにおいては、平成27年度から、①P D C Aサイクルによる目標管理及び業務改善の拡充、②ハローワークのマッチング機能に関する業務の総合評価の実施及び公表、③全国的な業務改善に向けた取組の強化を一体的に実施しています。

北海道労働局においては、管内ハローワークの一層のマッチング強化を図るため、就職件数、求人の充足数、雇用保険受給者の早期再就職件数等に係る目標値を設定し、求職者担当者制による個別支援（応募書類の作成支援、面接指導など一連の就職支援）や、求人充足・人材確保等求人者支援（求人内容充実のための提案、企業説明会、面接会の開催等）等の充実・強化にオンラインサービスも積極的に活用しながら取り組んできました。

今般、各ハローワークの主要実績、総合評価結果及び業務改善の取組等について、取りまとめましたので公表します。

令和4年度の目標達成率は、就職件数96.5%、充足数94.8%、雇用保険受給者の早期再就職件数103.8%となっています。

今後も、業務の質の向上や継続的な業務改善を図り、ハローワークに対する信頼感とサービスの向上に努めてまいります。

参考資料

「令和4年度 ハローワークのマッチング機能に関する業務の主要指標の実績」（別添）
「就職支援業務報告」（ハローワーク別）（※代表としてハローワーク札幌分を添付しております。その他のハローワーク分は以下をご参照してください。）

https://jsite.mhlw.go.jp/hokkaido-roudoukyoku/jirei_toukei/20150731mattiingukinou.html



令和4年度 ハローワークのマッチング機能に関する業務の主要指標の実績

項目 所別	就職件数(一般)					充足数(一般)					雇用保険受給者の早期再就職件数				
	目標値 令和4年度 ①	実績値 令和4年度 ②	達成率 ③=②/①	実績値 令和3年度 ④	対前年 実績値比 ⑤=④/③	目標値 令和4年度 ①	実績値 令和4年度 ②	達成率 ③=②/①	実績値 令和3年度 ④	対前年 実績値比 ⑤=④/③	目標値 令和4年度 ①	実績値 令和4年度 ②	達成率 ③=②/①	実績値 令和3年度 ④	対前年 実績値比 ⑤=④/③
北海道労働局	51,425	49,622	96.5%	49,883	99.5%	52,084	49,390	94.8%	49,811	99.2%	18,996	19,711	103.8%	19,072	103.4%
札幌所	7,060	6,933	98.2%	6,799	102.0%	8,864	8,517	96.1%	8,533	99.8%	2,826	2,887	102.2%	2,768	104.3%
札幌東所	5,950	5,267	88.5%	5,598	94.1%	5,180	4,869	94.0%	4,818	101.1%	3,550	3,549	100.0%	3,530	100.5%
札幌北所	3,685	3,458	93.8%	3,497	98.9%	4,495	4,009	89.2%	4,218	95.0%	2,380	2,511	105.5%	2,375	105.7%
函館所	5,050	4,863	96.3%	4,971	97.8%	4,825	4,538	94.1%	4,709	96.4%	1,530	1,713	112.0%	1,592	107.6%
旭川所	3,765	3,552	94.3%	3,661	97.0%	3,730	3,487	93.5%	3,553	98.1%	1,450	1,445	99.7%	1,404	102.9%
帯広所	3,150	3,264	103.6%	3,129	104.3%	3,230	3,287	101.8%	3,139	104.7%	1,160	1,197	103.2%	1,208	99.1%
北見所	2,280	2,285	100.2%	2,188	104.4%	2,205	2,126	96.4%	2,087	101.9%	590	654	110.8%	629	104.0%
紋別所	510	430	84.3%	485	88.7%	485	378	77.9%	446	84.8%	110	102	92.7%	110	92.7%
小樽所	1,855	1,849	99.7%	1,769	104.5%	1,850	1,752	94.7%	1,747	100.3%	520	565	108.7%	512	110.4%
滝川所	1,560	1,576	101.0%	1,539	102.4%	1,370	1,359	99.2%	1,349	100.7%	330	400	121.2%	340	117.6%
釧路所	3,000	2,816	93.9%	3,005	93.7%	2,975	2,707	91.0%	2,882	93.9%	820	916	111.7%	850	107.8%
室蘭所	2,570	2,541	98.9%	2,529	100.5%	2,365	2,302	97.3%	2,298	100.2%	560	658	117.5%	572	115.0%
岩見沢所	1,440	1,413	98.1%	1,418	99.6%	1,405	1,317	93.7%	1,357	97.1%	390	421	107.9%	399	105.5%
稚内所	705	807	114.5%	693	116.5%	680	759	111.6%	655	115.9%	150	150	100.0%	150	100.0%
岩内所	800	775	96.9%	775	100.0%	735	730	99.3%	680	107.4%	170	193	113.5%	166	116.3%
留萌所	510	454	89.0%	491	92.5%	475	423	89.1%	442	95.7%	80	103	128.8%	88	117.0%
名寄所	780	761	97.6%	787	96.7%	745	708	95.0%	733	96.6%	170	205	120.6%	167	122.8%
浦河所	700	643	91.9%	647	99.4%	645	592	91.8%	568	104.2%	120	104	86.7%	123	84.6%
網走所	650	645	99.2%	647	99.7%	645	634	98.3%	605	104.8%	140	163	116.4%	155	105.2%
苫小牧所	2,600	2,517	96.8%	2,528	99.6%	2,570	2,402	93.5%	2,452	98.0%	940	846	90.0%	953	88.8%
根室所	1,055	1,072	101.6%	1,032	103.9%	1,045	961	92.0%	1,028	93.5%	240	231	96.3%	238	97.1%
千歳所	1,750	1,701	97.2%	1,695	100.4%	1,565	1,533	98.0%	1,512	101.4%	770	698	90.6%	743	93.9%

※1 就職件数(一般)は、ハローワークの職業紹介により一般就職した件数で、オンラインハローワーク紹介による就職を含む。(一般とは、常用及び臨時・季節を合わせた仕事をいいます。)

※2 充足件数(一般)は、北海道内の各ハローワークで受理した一般求人に対して、全国のハローワークの職業紹介により充足した件数で、オンラインハローワーク紹介及びオンライン自主応募による充足を含む。

※3 雇用保険受給者の早期再就職件数は、基本手当の支給日数を所定給付日数の3分の2以上残して早期に再就職した件数

ハローワーク札幌 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 求職者支援に関する取組

- ・ 相談支援サービスの強化を図るため、求職者担当者制による個別支援の実施に取り組み、求職者の就職の妨げとなる課題把握やニーズに応じた支援を実施しました。
- ・ 相談窓口に「シニアJOBサポートコーナー」（生涯現役支援窓口）を設置し、シニア層の多種多様な就業ニーズに応じた個別支援、チーム支援を実施したほか、シニア向け求人情報一覧の定期発行、シニア向けマネープランセミナーの開催など直接・間接的な支援を実施しました。
- ・ 雇用保険受給者の早期再就職促進のため、相談窓口での就職ガイダンスの強化、求職者担当者制の活用促進のほか、ワンポイントセミナー（ミニ就活セミナー）を開催するなど就職活動を援助するサービス提供を行いました。
- ・ オンラインの活用により相談支援サービスの拡充、新規利用者の拡大を図るため、ハローワークインターネットサービスの求職者マイページの開設促進のほか、オンライン職業相談の実施、オンラインによるセミナーの開催や面接対策支援の実施に取り組みました。

② 求人者支援に関する取組

- ・ 求人事業所の人材確保を図るため、求人内容の充実や条件緩和提案等の求人充足に向けた支援、求人者担当者制による求人コンサルティングの実施のほか、相談担当と求人担当による求人充足会議の開催、充足推進チームによるマッチング支援に取り組みました。
- ・ 人手不足分野における求人事業所の人材確保のため、相談窓口での応募の働きかけのほか、関係団体との連携による就職相談会や職場見学会などのイベントを開催し、同分野の職業理解の促進、未経験者や就労ブランクのある者に対するマッチング機会の確保に取り組みました。
- ・ オンラインの活用によりハローワーク求人サービスの利用促進を図るため、ハローワークインターネットサービスでの求人者マイページの開設促進、求人申込みの働きかけを行いました。
- ・ ユースエール認定制度の周知と利用勧奨のため、事業所への求人要請時や求人事業所への事業所訪問時における働きかけ、経済団体へのリーフレットによる周知依頼を行ったほか、ユースエール認定企業に特化した管理選考型の面接会を開催（2回）するなど積極的な周知活動を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

① ホームページやSNSを活用したサービスの周知、情報発信の取組

- ・ ハローワークインターネットサービスの活用促進、ハローワークサービスへのアクセス性の向上を目的として、SNSを活用した情報発信を行うなど、ハローワークの利用しやすさのPR、真に支援を必要としている方へのアプローチに取り組みました。

② オンラインサービスの拡充、WEBの有効活用

- ・ 学卒向けセミナーの申込受付の利便性向上を目的に、WEBによる申込受付体制を構築し、申込みしやすい環境を整備した結果、WEBからの申込者の新規獲得につながりました。
- ・ 札幌新卒応援ハローワークのホームページに「かんたん求人検索」機能を拡充し、求人検索のしやすさ、利便性の向上を図りました。
- ・ ハローワークプラザ札幌のホームページをリニューアルしたほか、オンラインセミナーのWEBによる申込受付を開始するなど、サービスの利便性の向上と利用促進に取り組みました。
- ・ マザーズハローワーク札幌のサービス改善の取組として、自治体等が主催するイベントに就職相談ブースを出展、ミニセミナーを担当するなど、連携に基づくアウトリーチ型の支援を強化。また、オンラインを活用した就職支援サービスの向上に取り組みました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

① 「JOB-チェンジ」サポートコーナーの活用促進

新型コロナウイルス感染症の影響による離職者等の再就職に向けたワンストップの支援窓口として周知、利用促進を図るほか、雇用吸収力の高い職種、人手不足分野への就職を促すなど、人材確保対策コーナーとの連携による業種・職種を超えた再就職支援に取り組みます。

② オンラインによる就職支援の充実

オンラインを活用した職業相談・職業紹介に加えて、オンラインによる面接トレーニングやオンラインセミナー等を積極的に実施し、オンラインによるサービス提供の充実に取り組みます。

また、ハローワークインターネットサービスを活用した求人者マイページ、求職者マイページの普及、定着に取り組みます。

③ 求人事業所への充足サービスの強化

求人事業所のニーズを捉え、求人者担当者制、事業所担当者制による求人充足に向けたコンサルティングの実施のほか、相談担当と求人担当の連携によるマッチング支援の強化に取り組みます。

④ 人材不足分野における人材確保対策の実施

人材確保対策コーナーにおいて、関係機関と連携を図り、医療、介護、保育、建設、警備、運輸等の人手不足分野における企業説明会や見学会、面接会などのイベントやセミナーを開催し、同分野の魅力を広く発信するとともに、求人事業所に対する受理求人フォローアップの強化、充足支援の実施に取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

新型コロナウイルス感染症の雇用への影響がみられる中、令和4年度の就職件数は6,933件となっており、前年度の6,799件に比べ134件、2.0%上回っているほか、新規求職者数、新規求人数のいずれも前年度を上回るなど、ハローワークサービスの周知、利用促進のための取組、相談窓口における再就職に向けたマッチング支援や求人事業所に対する充足支援サービスの提供など、求職者・求人者ニーズに応じた各種取組の着実な実施により成果をあげることができました。

なお、求人数については、コロナ前の水準に戻りつつある中で、有効求職者数の高止まりが続いており、引き続き、求人事業所における人材確保支援はもとより、求職者の早期再就職に向けたきめ細かな相談支援サービスの提供、積極的なマッチング支援の実施に取り組めます。

2 特記事項

就職支援にあたっては、札幌圏労働市場のニーズに即した求職者・求人者に対するサービス提供や働きかけにより、特に人手不足分野の人材確保、多様な就業ニーズに応じた柔軟かつ幅のあるマッチング支援に取り組むほか、ミスマッチの解消や人材の円滑な移動を図るため、求職者の新たなスキルの習得やキャリアアップを支援する職業訓練の活用を推進します。

3 総合評価 (※)

良好な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワー クの職業紹 介により正 社員に結び ついた就職 氷河期世代 の不安定就 労者・無業 者の件数	生活保護受 給者等就労 自立促進事 業の就職率	障害者の就 職件数	新卒者支援 に係る就職 支援ナビ ゲーターの 支援による 新規卒業予 定者（既卒 者含む）の 正社員就職 件数	公的職業訓 練修了3か 月後の就職 件数	マザーズハ ローワーク 事業におけ る担当者制 による就職 支援を受け た重点支援 対象者の就 職率	人材不足分 野の就職件 数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職件数
令和4年度 目標	7,060	8,864	2,826	90.0%	90.0%	855	63.3%	705	2,651	567	94.0%	1,802	290
令和4年度 実績	6,933	8,517	2,887	70.8%	92.1%	623	60.7%	749	2,653	664	89.3%	1,754	292
目標達成率	98.2%	96.1%	102.2%			72.9%	95.9%	106.2%	100.1%	117.1%	95.0%	97.3%	100.7%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人者の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク函館 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 求職者支援に係る取組

コロナ禍における求人数の減少や、各種セミナー・説明会等の中止による求職活動の鈍化、失業期間の長期化も窺えたことから、よりきめ細かな支援を行うため、担当者制による支援を強化するとともに、求職者のニーズを踏まえた求人開拓を重点的に進めました。

特に、利用者数の増加が見られる高齢者層とハローワークの利用減少が続く若年者層に対する支援サービスの展開が必要であると考え、高齢者層については、新たに「シニア向けセミナー」を開始しました。セミナーの開催状況は、一定数のキャンセル待ちが出て急遽2開催とする月もあるなど、参加者からは「積極的に仕事を探そうと思った」、「手厚いサポートがハローワークにあることを知りよかった」などの評価をいただいています。

若年者層については、ホームページの拡充やSNSを効果的に活用するなど、ハローワークを利用していない方々に対する周知を工夫するほか、オンライン職業相談の利用を積極的に周知しました。

② 求人者マイページの普及強化に係る取組

求人サービス向上のため、求人者マイページの利用促進を強化するとともに、事業所訪問によるマイページ開設支援と職員実践による操作手順の解説を積極的に取り組みました。その結果、オンラインによる求人申込件数が年度当初に13.0%だったものが令和5年3月末で92.1%に向上することができました。

③ 人材不足分野（介護・医療・保育・建設・警備・運輸）におけるマッチング推進に向けた取組

人材確保対策コーナーでは、求職者が直接企業から仕事内容などの説明を受け、応募もできる場として、令和4年度に「ミニ求人説明会」を66回開催しました。また、就職支援コーディネーターが事業所を訪問し、具体的な事業所情報を収集し、求人票に反映させるほか、求職者向けPRシートを作成するなどの求人者支援を実施しました。また、年度の後半からは、事業所訪問時に職業紹介担当職員が同行し、求職者との職業相談時において活用するなど、人材不足分野における人材確保に向けた取組を強化しました。

④ 地方自治体との連携

ハローワークと遠隔の求職者に対する利便性の向上と、地方自治体との連携を目的として、管内自治体に対し、令和3年度に鹿部町と開始した「地方自治体とのオンライン職業相談による連携」の事業説明と活用の提案を行いました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

① 求人者支援に係る取組

これまでも求人者の早期充足に努めてきましたが、求人者支援の一層の充実を図るため、求人者の担当者制を定め、求人条件緩和指導、求人票記載内容の充実、求人者に対する求職情報の提供などのフォローアップを強化し、求人者の早期充足の促進に向け取り組みました。

② ハローワークの広報周知の取組

来所者向けには各種パンフレット等の紙媒体資料のほかに、庁舎内にデジタルサイネージを設置し、タイムリーな情報を提供しました。また、新聞等のマスメディアのほか、ホームページの充実、Twitter 公式アカウントの取得、YouTube バンパー広告の利用など、必要とする情報が行き届くように実践しました。令和5年2月からは、「ハローワークでできること、ハローワークができること」を内容とした YouTube による動画投稿を開始し、ホームページで公開しています。

各種イベントで、「ホームページ等を見て情報を知り参加した」など一定の効果が見られたことから、今後も引き続き、ハローワークができること、ハローワークが行っていることを届け、支援につなげるとともに、来所者サービスの向上を図っていききたいと思います。

③ 職員の資質向上に向けた取組

職業相談事例の検討会を開催し、職業相談に関するスキル・専門性及びサービスの質の向上を図りました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

令和4年度に重点的に実施した取組を着実に進めることとします。

① 高齢者層に対する取組

「シニア向けセミナー」を引き続き実施するとともに、人材確保対策コーナーと連携したミニ求人説明会の開催、雇用管理担当部署と連携をした個別求人開拓などを検討しています。

② 若年者層に対する取組

「学生職業コーナー」と「わかもの支援窓口」の連携によるワンポイントミニセミナー（オンライン併用）の開催を検討するほか、定着支援の強化、管内で開催されている若年者向けの各種イベントとの連携なども進めていきます。

③ 求人者マイページ及び求職者マイページに係る取組

オンラインによる求人申込件数が令和5年3月末で92.1%に達し、引き続き利用の定着に向け取組を進めます。併せて、求人者の担当者制によるフォローアップを強化し、求人者の早期充足に向け取り組みます。

求職者マイページの開設については、令和5年3月末で13.1%となっており、今後は、求職登録時などのあらゆる機会を捉え、開設のメリットを丁寧に

説明するなどの利用促進に努め、求職者マイページの開設を拡大し、オンラインサービス提供を促進します。また、オンラインによる職業相談の利用促進に取り組めます。

④ 地方自治体との連携

各種セミナー、就職面接会、企業説明会の開催や地域雇用活性化推進事業や誘致企業の人材確保支援等に関する意見交換、共同実施により効果が期待できるイベント等の企画により更なる強化を図ります。

(4) その他業務運営についての分析等

管内の基幹都市となる函館市の人口がピーク時（1984年）から3/4に減少し、管轄する2つの振興局における65歳以上の人口割合が他の振興局に比べて高い状況にあり、人口減少と高齢化が進む中での雇用の確保が課題とされます。

また、主要魚種の不漁により、漁業、水産加工業、観光業などに与える深刻な影響が続くほか、ここ5年で3件（本年8月末予定を含む）の大型商業施設が閉店し、経済・雇用への影響が懸念されます。

引き続き、管内自治体等と認識を共有し、連携した取り組みを進めるとともに、地域活性化を雇用面でサポートできるよう、取り組んでまいります。

2 総合評価 (※)

良好な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	障害者の 就職件数	新卒者支援に係る 就職支援ナビゲーターの支援による 新規卒業予定者等 (既卒者含む)の正 社員就職件数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による就 職支援を受けた重 点支援対象者の就 職率	人材不足分野の 就職件数
令和4年度実績	4,863	4,538	1,713	75.8%	88.5%	384	490	95.9%	1,377
令和4年度目標	5,050	4,825	1,530	90.0%	90.0%	377	454	94.0%	1,428
目標達成率	96.3%	94.1%	112.0%	-	-	101.9%	107.9%	102.0%	96.4%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク旭川 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

ア 求職者担当制に職業相談強化の取組

当所では求職者担当制による職業相談の強化として、前年度までは専門相談員である就職支援ナビゲーター等に限定して実施していた求職者担当者制について、令和4年度は一体的実施施設であるハローワークまちプラコナーや一般相談員まで拡大し、常時5～6人（一般相談員は2～3人）に対する個別支援を実施しました。その結果、令和3年度の支援開始者数が689人だったのに対し、令和4年度は809人と大きく増加し、就職者数（自己就職を含む）も令和3年度の478人から586人と大きく増加しました。

イ 求人充足会議「マッチング戦略会議」による求人充足の取組

令和3年度から始めた求人充足会議の発展形であるマッチング戦略会議とは

- ・「求人充足会議」：主に人材不足分野の求人について、求職者目線による内容分析や紹介手法の検討を目的とする会議
 - ・「求職者支援会議」：求職者担当制で支援する求職者情報を共有し、支援プランの検討や事業所部門による求人開拓等の支援強化を図ることを目的とする会議
 - ・「情報共有会議」：求人票以上の事業所情報や求職者からの情報を共有し、マッチング精度の向上や業務改善を図ることを目的とする会議
- の3つの会議により構成されており、定期的に運営方法等を検証し、マッチング戦略会議の部会として、「事業所部門スタッフ」と「職業相談部門スタッフ」を組み合わせた小チームによる相互サポートを実施するなど修正を加えながら進めました。この結果、チーム員の日々の情報交換・情報共有から充足支援・就職支援の意識が高まり事業所部門と職業相談部門の連携強化と両部門の担当者による、求人者と求職者へのサービスの充実と質の高い支援に努めることが出来ました。

ウ 求人情報提供による来所勧奨の取組

ハローワークインターネットサービスの拡充などのハローワークシステムの刷新のほか、民営求人情報提供事業の拡大により、求職者のオンラインによる求人情報の収集が定着してきたことからハローワークへの来所機会が減少しています。このため、ハローワークの支援サービスをPRのためのアクションとして、来所勧奨を兼ねた求人情報提供に積極的に取り組みました。

令和4年度の提供件数は7,611人に対して9,810件の求人情報提供となっており、求人情報提供をきっかけに求職者からの信頼を得ると

ともに職業相談内容の充実も図られています。

また、求職者が求人情報を容易に入手することが出来るようにホームページを刷新し、ホームページの閲覧回数は大幅に増加しました。

エ 事業所訪問による情報収集の取組

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により停止していた事業所訪問を再開し、求人開拓のほか事業所情報の収集に努めました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

ア 職業相談時の職種に関する説明を充実させるため、職業情報提供サイト（日本版O-NET）に関する研修を実施しました。

イ 就職支援セミナーの開催に関する研修を実施し、セミナー講師としてのスキルを向上させました。

ウ 職業訓練実施施設の見学を実施することにより、求職者への訓練施設や訓練科目に関する説明のスキルを向上させました。

エ 出入国管理局職員を講師に研修を実施し、外国人求職者に対する職業紹介の留意点を学び、知識を醸成しました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

ア SNSを活用した広報

ハローワーク内のミニ企業説明会や就職支援セミナー等の実施について、SNSを活用し情報発信を活性化しました。

イ 求人者マイページの利用促進

求人者マイページによる求人申込を積極的に促進し、求人者の利便性の向上に努めました。

ウ 事業所訪問機会の活用

事業所訪問において求人担当スタッフに加えて職業相談担当スタッフも同行し、求職者のニーズを求人者に伝え求人要件緩和に努めました。

エ 人材不足分野への求人充足への取組

人材不足分野への就職を促進する取り組みとして開催している「ミニ説明会」、「セミナー」等のイベントについて、所内サイネージシステムやホームページにおいて、積極的に周知しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ア 求職者マイページの活用促進

求人者マイページを保有する求人者が着実に増加していることから、求人者マイページサービスの一つである求職者への直接リクエストが活性化されるよう、求職者マイページの作成勧奨と求職者情報の公開を促進する必要がある。

イ 求人者マイページ利用率の更なる向上

求人者マイページによる求人申込利用率向上の取組を継続し業務効率化を進め、求人充足サービスの充実（例えば、事業所訪問の回数を増やすなど）を図る必要がある。

ウ 人手不足分野への求人充足支援の強化

人手不足分野の未充足求人の解消のため、マッチング戦略会議の「人材確保対策ミニ部会」を開催し対象求人を選定し討議しているが、今後は本取り組みの一つとして、「就職支援コーディネーター」と「就職支援ナビゲーター」合同の事業所訪問を実施し、地域の人手不足分野毎の課題を解決するために専門性を高めるとともに、求人条件の緩和を求め関係求人への応募を促進する。

エ 新卒応援コーナーでの支援強化

地元就職を促進するため令和5年4月から学卒コーナーの機能を強化することとし、新卒応援コーナーとして専門家による巡回相談（心の健康相談）及び大学生等の保護者に対する企業説明会等を実施します。

（4）その他業務運営についての分析等

令和4年度のハローワーク旭川管内の雇用失業情勢は、有効求人倍率が4月より12か月連続で前年同月を上回る推移で経過し、高止まりしていた有効求職者数も7月以降は減少傾向となり、コロナウイルス感染症の発生以前の状況に近づきつつあると捉えております。

建設業や運輸業、卸売・小売業、医療・福祉業など人材が不足している分野は採用活動が高水準にあり、コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、労働者を減らしていた宿泊業においても、宿泊需要の回復から採用活動が活性化しています。コロナ離職を経験した、求職者の一部は復職を敬遠している方も有るため、限られた（求職者を含む）労働力人口に対して職業能力開発やリスクリングによる人材確保対策を推進するほか、女性や若者、障害者や高齢者など多様な働き手の支援など、円滑な労働移動の推進をより強化する必要性を認識しています。

2 特記事項

旭川市と北海道労働局が運営する一体的実施施設ハローワークまちプラコーナーが、入居ビルの突然の閉鎖により、臨時閉庁を余儀なくされ、一時的なハローワークまちプラコーナーの利用離れがありました。

3 総合評価 (※)

良好な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	障害者の 就職件数	新卒者支援に係る 就職支援ナビゲ ーターの支援による 新規卒業予定者 (既卒者含む)の正 社員就職件数	ハローワークの職 業により正社員に 結びついた就職氷 河期世代(35歳～ 54歳)の不安定就 労者・無業者の件 数	人材不足分野の 就職件数
令和4年度実績	3,552	3,487	1,445	76.9	92.4	346	483	343	1,020
令和4年度目標	3,765	3,730	1,450	90.0	90.0	298	446	357	1,160
目標達成率	94.3	93.5	99.7	-	-	116.1	108.3	96.1	87.9

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク帯広 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

・相談窓口での求職者 MP 開設促進について

求人者 MP 開設促進と平行し、求職者 MP の更なる開設促進を実施。MP 開設勧奨リーフレット・未開設者来窓時の説明手順等を作成。窓口で実際に MP を開設し、その場で操作を体験することで利便性の実感、MP の操作方法を習得してもらう。特に個別支援対象者への情報提供・連絡に積極的に活用している。

・オンラインセミナーの実施

コロナ感染防止対策の一環として、10月開催分より、所主催の就職支援セミナーをオンラインで実施。対面実施の際は定員6名だったが、オンラインでは定員20名としたことにより多くの求職者がセミナーを受講できるようになった。

・障害のある求職者のニーズや配慮事項などを丁寧な確認・把握を通じて必要に応じ求職条件の緩和等も整理をしながら、常に求職活動の方策等について共有認識を図るとともに、求人選定や求人情報の提供にあたっては、応募が考えられる事業所から仕事内容等の細かな情報収集に努め、より具体的な仕事イメージにつながるよう求人票以上の情報と併せた提供を実施。

・障害のある求職者及び求人者が応募や採用に躊躇している場合には、職場見学の提案等により、求職者と求人者の接触の機会をつくり、就職や定着につながる取組みを実施。

・新規高卒未内定生徒に対しナビによる担当制の個別支援を実施。新たに管理表を作成し進捗状況が見える化。職員が逐一管理表を確認し助言を行うようにした。また、職員も学校の先生と定期的な連絡を取り、ナビが聞き漏らしている情報等があればナビに提供した。これらを実施することで、就職率100%達成に向けた取組みを実施。

- ・人材確保対策コーナーによる人手不足分野を中心とした企業説明会の参加企業数を増やし、体験型を取り入れるなどして、求職者へ仕事や企業理解の付与の促進、幅広い選択肢の提供を実施。

- ・求人者マイページによる求人申込利用率 80%以上の取り組みについて、職員研修等を通じて目標達成に向けて職員一丸となるように機運を醸成し、窓口・電話等のあらゆる機会を捉えて求人者マイページの開設、利用促進のための助言、サポートを丁寧かつ着実に実施。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

- ・帯広市内の障害者雇用を促進するため、主に未達成企業に対してハローワーク、帯広市、帯広市の障害者支援に係る委託先法人のそれぞれの役割・強み（ハローワーク：主に職域開発・求人受理・適格者紹介、帯広市：主に好事例の収集・提供、課題の聞き取り、委託法人：主に障害特性等を踏まえた雇用の助言・定着支援）を持ち寄り、活用することできめ細かなかつ効果的な雇用促進・定着に向けた取組みを実施。

- ・学卒面接会において、事前に面接会に参加する企業に興味を持ってもらえるよう企業のHPやインスタグラムのアドレスをQRコード化し掲載した企業一覧を作成し、配付した。生徒を対象にしたアンケートにおいて、22名中19名から役に立ったとの回答を得た。

- ・しごとプラザ帯広の利用促進による効率的な業務運営、帯広所の混雑緩和等によるサービス向上を図るため、職業相談部門と雇用保険課が連携し、雇用保険受給者に対して認定後の受給資格者証の返却と併せしごとプラザ帯広のリーフ配付、声かけを実施。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・本年度より開始した障害者雇用にかかる帯広市との連携強化については、引き続き定期的な打ち合わせや必要な情報共有を通して効果的な取り組みとする。

- ・大量離職者の発生（R5年2月5日付け解雇）を受け、当該離職者のみの認定日の設定、選定基準を踏まえた双方向性の求職者担当者制による支援を行う際には、就職希望時期などのニーズに応じたスピード感、スケジュール感をもって積極的に各種支援メニューを活用する。

2 総合評価 (※)

良好な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	障害者の就職件数	新卒者支援に係る 就職支援ナビゲー ターの支援による 新規卒業予定者等 (既卒者含む)の正 社員就職件数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による就 職支援を受けた重 点支援対象者の就 職率
令和4年度実績	3,264	3,287	1,197	91.1%	95.7%	497	349	242	96.9%
令和4年度目標	3,150	3,230	1,160	90.0%	90.0%	375	305	221	94.0%
目標達成率	103.6%	101.8%	103.2	-	-	132.5%	114.4%	109.5%	103.1%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク北見 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

- ・ 昨年度に引き続き、職業相談部門においては、双方向性の求職者担当制の実施、マッチング求人による来所勧奨、求人検索機利用者への窓口誘導や利用勧奨、応募書類の添削指導や応募書類の下書き作成の案内等の取組を、事業所部門においては、求人充足会議の充実、求人条件の緩和指導により条件変更となったリフレッシュ求人や急募求人等について、求人票に各種アピール表示を付すなどして、掲示ボードに掲載するなどの取組を実施しました。
- ・ 求人充足会議を「高齢」「早期」「生保」「マザーズ」の4類型に分ける方法で実施しており、各分野に応じた求職者の状況、窓口での相談内容を事業所部門と共有し、職業相談担当者と求人者支援員の日々の連携や求人充足会議を通じて、求職者の声を求人事業主に伝えることにより求人条件の緩和指導等を実施しました。また、更なる求人充足サービスの充実を図るため、職業相談部門で把握している原因（求職者の反応や生の声等）を事業所部門と共有し、求人者支援員が求人者にフィードバックするなど、結果（充足）にこだわった取り組みを実施しています。
- ・ 求人者、求職者マイページの利用促進のため、事業所相談窓口、求職者相談窓口、HP、Twitter等において当所独自リーフレット及び本省作成リーフレットを活用した周知活動を行い、マイページの利用を促しました。
- ・ 今までハローワークを利用したことがない（何年も利用していないを含む）層の利用促進のため、市役所内にジョブサポートきたみ及び本所に設置されているマザーズコーナーのチラシを配架するとともに、北見市役所の協力の下、市役所にて生活保護受給中の方へ郵便物を送る際ジョブサポートきたみのチラシを同封して周知しました。また、ジョブサポートきたみの目の前に子供が遊べる大きな遊戯場があり、そこを利用する保護者にジョブサポートきたみのチラシを配布し、遊戯場内にハローワーク職員が入り簡単な相談ができる旨周知を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・ 求人者支援員による求人充足会議後の条件緩和指導に職相ナビを同行させ、求人事業主の採用イメージや生の声等を直接聴取し、その後の求職者への情報提供等に活用する取り組みを行いました。この取り組みは両部門の相互理解を促進し、更なる連携強化に効果的であり、次年度は職員による実施も計画します。
- ・ オンライン職業相談についてはホームページや来所者端末のお知らせにより周知を図っていますが、電話による職業相談や紹介状の郵送による発行のニーズの方が高い状況にあり実施数が低調な状況です。利用促進の取組として、自宅で子育てをしながら職業相談や情報収集をすることがで

きることを実感してもらうため、マザーズを対象としたオンラインセミナーを実施したところ、一部の参加者をオンライン職業相談につなげることができました。また、当所の精神障害者雇用トータルサポーターが個別事業所に対し、オンラインでの精神・発達障害しごとサポーター養成講座を実施し好評をいただいています。

- ・ 下半期に所独自の Twitter アカウントを作成し、求職者向け就職支援メニュー、求人者向けサービス、雇用保険制度等のハローワーク情報を幅広く日々発信し、SNS利用者層をターゲットとした周知活動を始めました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・ 求人者支援員による求人充足会議後の条件緩和指導に職員・職相ナビを同行させ、求人事業主の採用イメージや生の声等を直接聴取し、その後の求職者への情報提供等に活用する取り組みを実施していきます。
- ・ ZOOM を使用したマザーズセミナー参加を契機とし、オンライン職業相談に繋がられるよう、自宅で子育てをしながら職業相談や情報収集をすることができることを実感してもらえような周知を行っていきます。
- ・ 65歳以上の求職者が徐々に増加してきていることから、仕事内容欄は就労している姿を想像しやすい内容を記載するなど65歳以上の求職者に情報提供できる求人の確保に努めていきます。また「就職氷河期世代（35歳～54歳）の正社員への就職件数」については、「学歴・経験・免許資格不問」の求人のほかに、求人受理時に求人充足会議時に職業相談部門から得ている現在の求職者状況を事業主に説明するなど応募しやすい求人の確保に努め、職業相談窓口では積極的な求人の提供を行っていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・ 「障害者の就職件数」については、障害者個々の状況に応じたきめ細かな職業相談や職業紹介を重ね、必要な求職者には関係機関との連携によるチーム支援を引き続き実施します。
- ・ 「マザーズハローワーク事業」については、求職者ニーズを踏えた担当者制による就職支援として、マザーズ担当者による個別求人開拓、マザーズコーナー求人情報の作成、PCスキル向上のためのワード、エクセルセミナーや税金・社会保険と扶養に関するセミナーの開催等の取り組みを引き続き実施します。
- ・ 「氷河期世代の就職」については、求職者ニーズを踏えた担当者制による就職支援として、きめ細かな職業相談や職業紹介を実施します。
- ・ 求人者マイページ、求職者マイページについて、マイページのメリット及び開設方法を簡潔にわかりやすく説明した、北見所独自リーフレットを継続してホームページに掲載、求人・求職窓口等で使用し、利用者数の更なる拡大を図るため周知を行っていきます。

2 総合評価 (※)

良好な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により正社 員に結びついた就 職氷河期世代の不 安定就労者・無業 者の件数	障害者の就職件数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による就 職支援を受けた重 点支援対象者の就 職率
令和4年度実績	2,285	2,126	654	72.5%	94.7%	315	195	94.9%
令和4年度目標	2,280	2,205	590	90.0%	90.0%	265	195	94.0%
目標達成率	100.2%	96.4%	110.8%	—	—	118.9%	100.0%	101.0%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク紋別 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

○求職者担当者制

自らが関わった求職者の中から就職意欲の高い者を選定し、ダイレクトメールによる求人情報の提供や応募書類作成支援等の支援メニューを実施しました。年度途中には相談員の求職者担当者制の対象者を増やし、取組を強化しました。（8月から各自3人担当を5人担当へ変更）

○求人充足会議の充実

週に1回充足会議を実施し、求人受理担当と相談担当が率直な意見を交わすとともに、求職者の声などを情報共有することで求人票の条件緩和をより効果的に進めるようにしています。さらに求人内容が緩和できた場合は、再度相談担当にその求人票を提供しダイレクトメールを行う等求人への充足に向け取り組みました。

○認定日の全員相談、給付制限対象者の来所勧奨等の取組

雇用保険受給者には、認定日に全員相談を実施。また、雇用保険の給付制限対象者には、初回認定日から4週間後を指定した来所日の設定や求人情報の提供を行い、窓口に誘導しました。

○求人者マイページの普及強化の集中的な実施に向けた取組

求人申込みに来所、電話、FAXをしてきた全ての求人者に対し、求人者マイページの利便性の説明を行ったうえ、活用を案内し、可能な限り求人者マイページを通じた求人申込みを促した結果、令和5年3月の求人申込件数の9割が、求人者マイページからの申込みとなるなど、普及が進みました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

○ハローワークの各種サービスについてホームページに掲載し、これまでハローワークを利用していない求職者等に向けてハローワークのサービスの周知と利用促進を図っていますが、さらなるハローワークの利用促進のため、求職者・求人者マイページの利用方法を掲載するなど利用者にわかりやすくなるようにホームページを拡充しました。

○当所発行の求人情報誌に当所ホームページのQRコードを掲載し、スマートフォンからもアクセスできるよう対応しました。

○求職者マイページについて、来所求職者には求職者マイページ周知用リーフレットを配付の上、概要を説明し周知していましたが、マイページ開設が低調だったため、それに加えて雇用保険窓口で一般被保険者用に配付する「離職されたみなさまへ」にオンライン求職登録の案内を同封し、当所発行の求人情報誌の巻末には「求職者マイページのご案内」を掲載したことで、周知の強化を図りました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

○高年齢の求職者の割合が増加してきていることから、仕事内容欄は就労している姿を想像しやすい内容を記載するなど、高年齢の求職者に情報提供できる求人の確保に努めていきます。

○求職者マイページのさらなる利用促進を図るため、システムを活用した支援サービスの周知を強化する取組を進めていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

○令和4年度の新規求人数は、多くの産業で前年同期より増加し持ち直しの動きが続いていますが、新規求職者は大幅に減少しています。これは、事業主都合による離職者の減少及びコロナ禍の中で退職を控える者や求職活動を控えている者がいることも要因と思われ、そのような中で、相談に来ている求職者は、何らかの課題や制約を抱えた方が多くなっていることから、求職者担当者制を含め、より丁寧な相談、関係機関との連携を実施します。

2 総合評価 (※)

標準的な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により正社 員に結びついた就 職氷河期世代の不 安定就労者・無業 者の件数	ハローワークの紹 介により、正社員 に結びついたフ リーター等の件数		
令和4年度目標	510	485	110	90.0%	90.0%	35	25		
令和4年度実績	430	378	102	89.2%	87.1%	25	20		
目標達成率	84.3%	77.9%	92.7%			71.4%	80.0%		

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク小樽 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、今年度において「求職者担当者制の取組強化」、「求人充足サービスのさらなる取組強化」、「職業相談部門と事業所部門の連携強化」、「求人者・求職者に対するマイページの普及促進」を重点事項として下記のとおり取組を進めました。

① 求職者担当者制の取組強化

「双方向型」及び「一方向型」を併用しながら担当者制による職業相談を実施し、その取組の中で求職者個人の事情等をより深く把握するとともに、関係機関との連携も図りながら、予約制による相談、履歴書・職務経歴書の作成支援、面接トレーニング等の課題解決に向けた支援サービスを提供するなど、再就職支援の取組を強化しました。

② 求人充足サービスのさらなる取組強化

求人充足会議の開催や求人担当者制の実施により、求人充足に向けた支援等の進捗状況の確認やフォローアップ等を行い、求人の早期充足を図りました。

また、会社説明会の開催や庁舎内に特に人材不足関連事業所を中心とした会社の自己PR情報や職場風景（画像情報）を掲示する「会社PRコーナー」を求職者スペースに設置するなど、求人充足の取組を進めました。

③ 職業相談部門と事業所部門の連携強化

職業相談部門スタッフ（求職者担当）・事業所部門スタッフ（求人者担当）の特定のスタッフからなるマッチング特命班を設置し、「三者面談」（求職者本人、職業相談部門スタッフ、事業所部門スタッフを構成員として面談を行う。）を実施しチーム支援を進める取組を行い、さらなる適切なマッチングを推進するなど、連携強化を図りました。

④ 求人者・求職者に対するマイページの普及促進

求人者マイページについては、当所作成の開設リーフレットを活用しながら、当所ホームページでの周知や事業所訪問、電話等による積極的な周知に取り組みました。

求職者マイページについても、当所作成のリーフレットを活用しながら、当所ホームページでの周知や窓口での新規求職受理時等に、マイページ利用の周知を積極的に行いました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

- ・ハローワークのサービスメニューを紹介する独自リーフレット「ハローワークのサービスを利用しませんか？」(QRコードを掲載し当所ホームページも確認いただく。)を作成し、庁舎内に掲示するほか庁舎外で毎週1500部配布している求人情報誌に添付し、当所が実施している各種サービスのさらなる周知を行いました。
- ・待合スペースにディスプレイを設置し当所が実施している各種就職支援サービスの動画を放映するとともに、雇用保険の受給受付窓口には、独自リーフレット「ハローワークのサービスを利用しませんか？」を活用した当所が実施している就職支援サービスの各種リーフレットを効果的に掲示するなど、雇用保険受給者の早期再就職を促すための各種情報提供に努めました。
- ・求人者マイページの普及促進のため、事業所訪問等により積極的に求人者マイページの開設勧奨を実施するとともに、開設に関する独自リーフレットも昨年度のものから見直し、画像やイラストによる説明を中心とする、わかりやすいものに改定しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・求職者担当者制の取組を引き続き積極的に実施するなど、求職者に対する就職支援の更なる強化の取組を進めます。
- ・「三者面談」の取組について、担当スタッフを拡大し、さらに積極的に実施するなど、求人充足支援の充実・強化の取組を進めます。
- ・求人者・求職者マイページのさらなる普及促進のため、事業所訪問等や窓口等の周知のほか、今後の利用者の増加に向けて、引き続きWEB(当所ホームページやSNS等)を活用して広報の強化を図ります。

(4) その他業務運営についての分析等

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症にかかる「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」が適用されず行動制限等はありませんでしたが、第7、8波と感染が拡大し特に11月には北海道内で1万人を超える過去最多の感染者が記録されました。また、国際的な原材料価格の高騰等にもともなう物価上昇等の動きも見られ、雇用に与える影響に留意する状況にありました。

このような状況の中で、行動制限がなかったことや全国旅行支援や外国人観光客の水際対策の緩和等もあり、社会経済活動も活発となり、求人の動きについては前年と比べ増加傾向で推移しました。

求職者の動きについては生産年齢人口が減少傾向(北海道全体の減少の動きよりもかなり早く進んでいる状況)で推移していることに加え、求職者がコロナ禍において積極的な求職活動がとりにくかったという動きもあり、減少傾向で推移しました。

当所における令和5年3月現在の有効求人倍率は1.30倍で前年同月と比べ0.11ポイント増加していますが、コロナ前の令和元年度の1.40倍に近づきつつあるものの、その水準には至っておりません。

物価上昇等が雇用に与える影響に留意する状況が続いていますが、求職者ニーズを反映させた求人の確保に向け、充足の可能性も意識しながら、求人者に対してきめ細かな充足サービスを行い、また、求職者に対しては労働市場の動向も踏まえ、丁寧な職業相談を実施し、求職者のニーズや態様に合わせた支援サービスの提供を行い、各種サービスの充実、質の高い支援を推進して参ります。

2 総合評価 (※)

標準的な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により正社 員に結びついた就 職氷河期世代の不 安定就労者・無業 者の件数	マザーズハロー ワーク事業におけ る担当者制による 就職支援を受けた 重点支援対象者の 就職率	生涯現役支援窓 口での65歳以上 の就職件数
令和4年度目標	1,855	1,850	520	90	90	145	94	120
令和4年度実績	1,849	1,752	565	92	94	102	98	125
目標達成率	99.7%	94.7%	108.7%			70.3%	104.4%	104.2%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク滝川 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

基本業務の徹底として

- ・ 求職票表面の完全記入及び職業相談コメントの的確な記録の徹底を図りました。
- ・ 各種支援メニューに係る周知を積極的に実施しました。
- ・ 求人票記載内容の正確性と明確性を確保し、必要により求人条件緩和及び法令遵守の指導を実施しました。また、求人票記載内容以上の事業所情報の収集と提供にも取り組みました。

求職者担当制の取組として

- ・ 今年度においては、まずは「お客様から指名されるスタッフであること」「お客様に十分満足していただく職業相談」を目指し、十分な関係構築を徹底しスタッフがお客様からの指定を受けて対象者の選定を行うこととしました。あらかじめ関係構築に力を入れていたことから、求職者及びスタッフが同じベクトルで課題に向き合い相談できた場面が増えたと感じております。

求人者担当制の取組として

- ・ 求人と求職のマッチングを効果的に実施するため、特定の求人に対し「充足状況の確認」「充足状況に合わせた継続的な情報提供と条件緩和指導」等きめ細かな支援を実施しました。
- ・ 求人充足会議で支援対象とした事業所についても、必要に応じ求人者担当者制として支援を行いました。求人充足会議の内容を参考に、求職者の登録状況や動向について情報提供を行い、求人票の記載内容や条件緩和などの提案を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・ 職員、相談員の資質を向上させ、求職者に対し質の高いサービスを提供できるよう所独自の研修を実施し、業務の改善を図りました。
- ・ ホームページのレイアウトを大幅に刷新し掲載内容を充実させました。特に「かんたん求人検索」は、ハローワークインターネットサービスの操作が難しいという声をいただいた多くのお客様から好評をいただいております。また、ホームページを広く知っていただくため、管内の全市町に対し当該刷新についての周知広報依頼を行ったところです。
- ・ 職業訓練受講指示の機会を捉まえ、ホームページの周知、オンライン職業相談及び求職者マイページ開設等に係る勧奨を行うなど、来所が困難となるタイミングでハローワークのオンライン上での支援サービスについて説明を再度行うなど、効果的な周知に努めました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・ホームページやハローワークインターネットサービスを通じたオンラインによる支援サービスについては、お客様から一定程度認知されたかと思えます。この状況を受け、引き続き「窓口ならではの支援サービス」「来所してよかったと思っただけのような窓口対応」の充実に努めます。
- ・(1)、(2) で実施した「特に重点的に取り組んだ事項」及び「サービス改善・業務改善を図った事項」の更なる定着のためには、ハローワークスタッフの、求人・求職のマッチング能力、キャリアコンサルティング能力などの個々人の資質の向上が重要となりますので、スキルアップの向上のため所内研修の実施を引き続き実施します。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響継続により、地域の雇用情勢は予断を許さない状況が続いていますが、求職者支援については、オンライン相談や電話相談の実施、窓口で直接相談する求職者には従来から実施している個別支援の強化、事業所支援については、事業所訪問による求人開拓を積極的に実施します。

2 総合評価 (※)

良好な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職業紹介により正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	生活保護受給者等 就労自立促進事業 の就職率	障害者の就職件数	
令和4年度目標	1,560	1,370	330	90%	90%	170	63.3%	127	
令和4年度実績	1,576	1,359	400	93.9%	95.9%	134	65.2%	162	
目標達成率	101.0%	99.2%	121.2%	-	-	78.8%	103.0%	127.6%	

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク釧路 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

各指標に対する取組

当所では求職者に対する積極的な就職支援の実施を最重要と考え、就職件数の目標達成を目指して重点的にすすめることとし、求職者担当制の取組を行いました。

担当スタッフを前年度の3名から23名に拡大し、729名の方に就職に向けた支援を行い、537名の就職と大きな成果がありました。

雇用保険受給者に対しては、初回認定の際にアンケートを実施し、それぞれのニーズを把握したうえで労働市場の状況やハローワークサービスの説明、早期就職によって支給される再就職手当の具体的な金額を提示することで、早期再就職に向けた就職意欲の喚起と支援に努めました。

求職者の利便性向上のため、インターネット上での求職者マイページの開設とメリットをまとめたポスターを掲示し、登録勧奨に努めました。

また、総合案内で待ち時間を利用した、スマートフォンでの登録を案内し、登録方法がわからない方へのサポートを行いました。

独自に作成した、求職者マイページに係るリーフレットをより分かりやすいものにリニューアルし、ハローワークプラザくしろでは相談者の視界に入るよう、壁に求職者マイページの利用案内を掲示しました。

充足会議の見直しによる職業相談部門と事業所部門の連携の強化と、求人担当者制の見直しによる個別支援の強化による求人者サービスの充実を重点的に取組みました。

充足会議の見直しについては、サービスメニューを活発に検討できる会議環境の整備のために開催要領を大幅に見直しました。また、検討対象とする求人票は、開催翌週月曜日の相談部門ミーティングで周知し、結果・経過については1か月後の充足会議で報告することとしたことで、フォローアップの結果も含めて情報の共有化が図られるようになりました。

求人担当者制については、これまで充足会議対象求人のみとしていたものに求人開拓で申し込まれた求人等を選定基準に加え、基準を満たす求人幅広く対象求人とするよう見直しました。これによって、個別支援をスピーディかつ継続的に実施でき、求人者との信頼関係が構築されています。

(2) 各指標に対する取組サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワークの実績をアピールする掲示物の内容を見直し、当所のサービスメニューを追加することで窓口利用の促進を図ったほか、新たにトイレ内で掲示、求人検索用端末の仕切りにラミネート加工したサービスメニューを取り付けました。

60歳以上の方を対象に「シニア応援セミナー」を開催し、再就職に向けた就職意欲の喚起に努めました。

求人者マイページ開設を促進するために、アカウント登録誘導や求人者マイページ開設後の各種手続きについてわかりやすい説明・誘導ができるよう、当所ホームページに参考資料やアクセス先を集約したページを作成しました。

また、当該ホームページを活用してわかりやすい説明ができるよう、所内研修を実施しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者の就職を妨げる課題を、適切に捉え、その解決を図りつつ支援を行う「課題解決支援サービス」の重要性が増していることから、課題解決支援サービスの実施能力向上に向けて、キャリアコンサルティングに関する技能及び知識を獲得できるような職員の専門性の向上に資する研修を実施します。

また、日常的な所内での求職者支援のための事例検討会の機会を確保し、職業相談部門の全職員が相互に研鑽できるよう、取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

特になし

2 総合評価 (※)

良好な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により正社 員に結びついた就 職氷河期世代の不 安定就労者・無業 者の件数	障害者就職件数	新卒者支援に係る 就職支援ナビゲー ターの支援による 新規卒業予定者等 (既卒者含む)の 正社員就職件数	マザーズハロー ワーク重点支援対 象者の就職率
令和4年度目標	3,000	2,975	820	90.0	90.0	250	205	300	94.0
令和4年度実績	2,816	2,707	916	91.5	96.6	209	218	301	94.3
目標達成率	93.9%	91.0%	111.7%	101.7%	107.3%	83.6%	106.3%	100.3%	100.3%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク室蘭 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、昨年度に引き続き求人・求職のミスマッチの解消と未充足求人の充足促進を図るため、応募前見学の実施について重点的に取り組みました。

また、求人者・求職者の利便性向上のためマイページの利用促進に取り組みました。

・応募前職場見学の実施

応募に踏み出せない求職者に対しては、応募前職場見学を積極的に勧奨し応募の意思決定を促しました。

また、求人者に対しては応募前職場見学のメリットを周知し応募前職場見学可能求人の確保に取り組むとともに、応募前職場見学時に見学者に自社のアピールをしていただくことを提案しました。この取り組みは求人・求職のミスマッチを未然に防止するとともに早期離職の抑制にも繋がり、見学実施後には「求職者へ事前に職場を知ってもらい事業所をアピールすることができ、紹介に繋がってよかった」、「事前に仕事の内容や職場の雰囲気を知ることができ働く姿をイメージすることができた」など求人者・求職者の双方から見学を実施してよかったという声が寄せられました。

・求人者・求職者マイページの利用促進

ハローワークのシステムが刷新されたことによりハローワークに来所せずにオンライン上で様々なサービスが利用可能となったため、求人者、求職者の利便性向上のためマイページの利用を呼びかけました。

求人者に対しては、ハローワークスタッフが電話や訪問によりマイページの開設や求人の提出方法について説明し、マイページの開設、オンラインでの求人提出の支援をしました。

求職者に対しては、ハローワークに来所された方へはマイページの登録によりご自宅等にしながら利用可能なメニューを周知し、オンラインによるマイページ開設後ハローワークに来所していない方には、担当者制による個別支援や面接トレーニングといったハローワークに来所することにより利用できる就職支援メニューを周知しました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

・高齢者への就職支援

高齢者の求職者が増加している中で、個人の適性や能力、就業ニーズを的確に把握し、キャリアを活かした希望に沿った職業生活を過ごせるようきめ細かな支援を実施するとともに、高齢者の就労しやすい求人、キャリアを活かせる求人の確保に取り組みました。

また、高齢求職者の中にはインターネット等の利用が困難な場合もあるため、高齢者の応募を歓迎している求人票をファイリングし閲覧可能としたり、高齢者歓迎求人情報を月2回発行する等、インターネットだけではなく紙媒体での求人情報提供を行いました。

さらに、長年に渡り一つの職場で就労し転職経験の少ない高齢者の方へ、高齢者が採用されている職種を記載したリーフレットを提示し職種転換の検討を促しました。

・掲示物の見直し

当所の支援メニューや来所された方が必要としている情報を一目でわかるよう庁舎内の掲示物等を見直しました。

また、利用者が必要としている情報を整理し、ニーズに沿ったリーフレット等を作成しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

・システムの刷新によりハローワークに来所せず求職活動が進められるようになりましたが、ハローワークを利用される求職者には課題を抱えて相談に来られる方も多い状況です。困難な課題を抱えた求職者に対し、引き続き双方向制の求職者担当制による個別支援を実施し、個々の課題の把握や解決に向け支援します。

また、必要に応じ担当者だけでなく部門内で支援策を幅広く検討し実施します。

・求人者担当制については、人手不足分野や鉄鋼業の業種を中心に充足に向けて求人条件の緩和や求人票の記載内容の見直し、マッチング等を実施しており、今後も効果的な支援策を検討し実施します。

・庁舎外施設であるハローワークプラザ中島や登別市ふるさとハローワーク（ジョブガイドのぼりべつ）について、関係機関と連携し利用促進を図ります。

(4) その他業務運営についての分析等

・「障害者の就職件数」については、障害者個々の状況に応じたきめ細かな職業相談や職業紹介を日常的に行うとともに、関係機関と連携したチーム支援を引き続き実施します。

・「マザーズハローワーク事業」については、担当者制による就職支援を実施し求職者ニーズを的確に捉え、仕事と家庭の両立可能な求人開拓の実施やマザーズコーナー求人情報の作成、各種セミナーの開催等の取り組みを実施します。

・「氷河期世代の求職者の就職」については、求職者ニーズを踏まえた求職者担当制による個別支援を実施するとともに、応募前職場見学の勧奨等のきめ細かな就職支援や雇い入れ助成金等各種制度を活用し、ニーズに沿った就職に向けて支援します。

2 総合評価 (※)

良好な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	氷河期世代 正社員就職件数	障害者 就職件数	マザーズハローワ ーク重点支援対象 者の就職率	
令和4年度実績	2,541	2,302	658	91.4	93.0	361	177	96.8	
令和4年度目標	2,570	2,365	560	90.0	90.0	300	149	94.0	
目標達成率	98.9	97.3	117.5	-	-	120.3	118.8	103.0	

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク岩見沢 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 求職者担当者制の拡充

当所では、求職者担当者制の拡充（特に就職氷河期世代）を図り、就職数・就職率の向上を目指しました。昨年度よりも積極的に窓口での予約・氏名相談を取り入れ、就職に至るまで同じ担当者に対応するなどし、対象者数は前年度を大きく上回りました。

② 求人者担当者制による充足サービスの強化

当所で開催する「求人充足会議」をはじめ、各部門でのミーティングも毎日行われており、求人の充足状況を共有した上で、求人条件を緩和依頼し、マッチングの制度向上に努めています。加えて職員による求人者担当者制を実施しており、計画的な事業所訪問も行っています。

③ 全所体制での連携強化

情報共有を確実にし、窓口の混乱を防ぐため、各課部門同士で臨機応変に窓口応援に入る連携協力を図っています。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

① 雇用保険説明会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止していた雇用保険説明会を再開し、説明内容をコンパクトにまとめました。

② 会社説明会の実施

会社説明会を積極的に実施しました。説明会終了後に参加者が職業相談窓口に来窓する等の効果を生み出しています。

③ ホームページの改修

当所ホームページについて、管内の求人検索が簡単にできる「求人かんたん検索」機能を設けました。その他「会社説明会開催のご案内」をアップする等随時内容の見直しを行っています。

④ イベント情報の作成

求職者向け就職セミナーや会社説明会の開催情報をまとめた「イベント情報」を毎月作成し、所内に配架、掲示するだけでなく、毎週発行する求人情報誌の最終面につけるようにしました。

⑤ 求人者マイページの利用向上

求人者マイページの開設並びに求人オンライン手続きの普及に努め、来所不要の求人オンライン手続きの利用率が飛躍的に上昇しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

① 求職者マイページの利用向上

管内市町村機関にマイページ開設に係るリーフレットを配置するなどし、幅広く求職者に対し求職者マイページの利用を促すよう努めます。

② 雇用保険受給者の再就職促進

求職者担当者制などの取組を通じ、雇用保険受給者の早期再就職支援の充実を図ります。

③ 各種助成金の周知・活用

コース毎にそれぞれ別リーフレットになっているものを一つのリーフレットにまとめる等、利用者が見やすいツールを作成し、周知・活用促進に努めます。

④ ジョブガイド美唄の就職促進

マッチング等様々な支援策を通じ、就職件数260件以上となるよう取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

① 管内の求職者の年齢構成について

当所管内は高齢化が進んでおり、令和5年3月現在の55歳以上の新規求職者率は42.3%（前年37.7%）です。特に65歳以上の新規求職者が16.8%（前年14.8%）を占めており、高齢化が進んでおります。通信機器が不慣れな方もおり、オンラインでの職業相談より、対面での相談や電話での相談を好む傾向にあります。

② 「美唄市ふるさとハローワーク」（ジョブガイドびばい）について

美唄市との連携もあり、目標対象期間（令和3年10月～令和4年9月）の就職件数は、344人となり、就職目標数の260件をクリアしました。

2 特記事項

令和4年12月初めから令和5年1月末にかけて、大雪や吹雪に見舞われる日が多くあり、岩見沢市内においても、幹線道路を初めとした除排雪がおいつかず、路線バスも頻繁に運転遅延・運休となり、市民生活に多大なる影響を及ぼしました。特に1月4日の仕事始めでは、積雪により道央圏のJRや高速バスが運転遅延・運休したため、多くの職員や相談員が出勤困難な状況となり、来所者サービスの維持には相当な努力を必要としました。

3 総合評価 (※)

良好な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職業紹介により正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	生活保護受給者等の就職率		
令和4年度目標	1,440	1,405	390	90.0%	90.0%	140	63.3%		
令和4年度実績	1,413	1,317	421	74.5%	93.0%	188	85.3%		
目標達成率	98.1%	93.7%	107.9%			134.3%	134.8%		

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク稚内 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

【就職件数】

- ・求職者担当者制により、常時3人以上の求職者を担当し、応募求人の選定から応募書類の作成支援、面接対策、紹介不調後のアドバイスなど、就職までのフォローアップを行いました。

【充足件数】

- ・求人者担当者制により、求人票のブラッシュアップ、事業所から収集した画像情報を掲示した職場PRコーナーの充実など、求人充足のためのフォローアップを行いました。

【雇用保険受給者の早期再就職】

- ・認定日には全員に職業相談を実施し、早期再就職のメリットについて説明し、応募求人の提案を行いました。
- ・給付制限の対象となる求職者には、給付制限期間中の来所相談を勧奨しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

相談スタッフの資質向上のため、一般職業紹介業務取扱要領に基づく研修、就職困難者（障害者）支援にかかる研修を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・条件緩和を行った求人については速やかに情報共有し、求職者に積極的マッチング、紹介を行うほか、週刊求人情報そうやに「条件緩和求人」として再掲しました。

・「週刊求人情報そうや」には、条件緩和を行った求人の再掲のほか、雪が降り始める時期に「送迎有り求人」、年末に「スーパー業務関連のお仕事求人」などの特集記事を掲載し、「週刊求人情報そうや」がより求職者にとって魅力のあるものとなるよう工夫しました。また巻末ページにセミナーや職業訓練、オンライン職業相談や求職者マイページについてのリーフレットを掲載しました。

- ・雇用保険受給者の早期再就職を促すために、資格決定時、初回認定日、制限中の職業相談の各時点において、早期再就職のメリットを説

明するほか、能動的マッチングによる求人情報提供、応募書類の作成支援などの課題解決サービスの提案を行いました。

・オンラインでの求人申込の利用促進については、求人更新時、新規求人申込時に求人者マイページの開設を提案し、求人者マイページの開設および求人者マイページからの求人申込の手順について、電話・訪問による説明を行いました。PC操作に不慣れな求人者に対しては、丁寧に寄り添った求人者支援に努めました。

・職業紹介担当のスタッフに求職者マイページの開設・オンライン職業相談・求職者マイページ開設についての研修を行ったうえで、相談窓口を利用した求職者には、求職者マイページの開設の提案、開設支援を行いました。また、オンライン職業相談のリーフレットを作成し、窓口に掲示・配架するほか、遠隔地域在住の求職者には必ずリーフレットを手交し、オンライン職業相談の利用を勧奨しました。

・各町村役場に設置している「地元求人コーナー」の求人情報一覧表のファイルに、ハローワークのサービスメニュー、ハローワーク稚内のHPのリーフレット、求職者マイページ開設方法のリーフレット、オンライン職業相談のリーフレットを編纂し、ハローワークを知ってもらい、新規求職者の登録を促す取組を行いました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

【求人者との接触機会の増大】

・令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、面接会や事業所訪問等で、求職者と求人者、求人者とハローワーク職員との接触機会をあまり作ることはできませんでした。

・令和5年度からは、「ミニ企業説明会」「紹介スタッフによる事業所訪問」の取組を行う予定です。

【オンラインサービスの利用促進にかかる取組】

・求人者マイページの開設を提案し、多くの求人者にご理解いただき、求人者マイページからの求人申込をいただいているところですが、今後は求職者にもマイページの開設を積極的に提案し、オンラインハローワーク紹介の活用促進など、ハローワークインターネットサービスの利便性をPRする取組を行う予定です。

(4) その他業務運営についての分析等

・有効求人倍率、月間有効求人倍率は、すべての月で前年同月を上回る高水準で推移し、求職者にとっては雇用機会が増えますが、その一方で、多くの企業で人手不足が深刻となっています。人手不足分野の求人を中心に、求人充足のため取組を行うようにします。

・今年度までも新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出抑制下や、遠隔地求職者を中心に通信紹介を行ってきましたが、求人者マイページが普及したことにより、今後はオンラインハローワーク紹介を積極的に推奨していくようにします。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結び付いた 就職氷河期世代	ハローワークの紹 介により、正社員 に結びついたフリ ーター等の件数		
令和4年度実績	807	759	150	97.8%	99.0%	59	45		
令和4年度目標	705	680	150	90.0%	90.0%	50	48		
目標達成率	114.5	111.6	100	-	-	118	93.8		

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク岩内 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

就職件数及び求人充足数の向上を目指して、当所の特徴（窓口全員が職業相談と求人受理を担っている）を活かし、求人情報の収集・蓄積、求職者情報の把握・情報の共有など、能動的かつ積極的なマッチングを推進しました。特に雇用保険受給者に対しては、雇用保険説明会や認定日に来所した際に、少なくとも一人に1件以上の求人を提供するよう努めました。

また、当所俱知安分室内における急速な人手不足に対する取り組みとして、外国人及び道外の求職者に対する働きかけを行いました。具体的には、新宿外国人センター宛てに求人情報（「外国人歓迎」「日本語不可でも応募可」「住込可（入居可能住宅あり）」「オンライン（WEB）面接対応可能求人」）を提供し紹介を依頼したほか、求人者に対しオンライン面接の対応に理解を求め、管轄外の求職者が応募しやすい求人を増加させる取り組みを行いました。

なお、当所が重要視していた「新規学校卒業予定者等の支援」については、職員及び就職支援ナビゲーターが管内の高等学校を訪問し、生徒に対する個別支援（職業相談等）を実施し、学校との情報共有や連携を図ったほか、後志総合振興局と連携して「後志管内若年者向け合同企業説明会（地元企業の魅力発見フェア 2022）」を共催しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取り組み

北海道労働局主催のキャリアコンサルタント研修及び、労働大学校における職業指導 I 専門研修に若手職員を送り出しました。また、求人の受理等、職業紹介業務を担うためには、各種労働関係法の知識が必要となることから、小樽労働基準監督署俱知安支署に依頼し研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

既存のハローワークインターネットサービスにおいて求人検索が難しいと感じている求職者向けに、当所のホームページ内にクリック選択のみで簡単に求人を検索することができるバナーを設置しました。さらに、当所俱知安分室内の「入居可能住宅あり」の求人をワンクリックで検索できるバナーを増設し、求人情報提供方法に関するサービス改善を図り、人手不足が顕著な俱知安管内の求人に対する興味や応募意欲の向上（居宅に関する不安の払拭等）に取り組みました。

また、当該取り組みを活用していただくために、北海道労働局のツイッターから当所のホームページをPRする動画を発信、利用勧奨の案内を作成・配布し、利用促進を図りました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

引き続き当所倶知安管内の人手不足を補うため、今後も後志総合振興局や道外のハローワーク（外国人センター等）との連携を強化し、外国人受入企業の情報提供等を行います。

また、求人者に対しオンライン面接の対応に理解を求め、管轄外の求職者が応募しやすくなる求人内容を提案するとともに、求職者に対しても郵送や求職者マイページを活用し幅広く管内の求人に興味を示すよう働きかけ、応募に繋がる情報提供サービスの改善に取り組みます。

その他、障害者の雇用促進を強化するために、小樽後志地域障がい者就業・生活支援センターひろばと緊密に連携をとり、チーム支援により就職・定着支援を図ります。

なお、当所ホームページの定期的な更新・改善、利便性向上等の業務改善に取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

令和4年度は、当所管内（倶知安分室管内）の主要産業である観光産業、特にインバウンドに大きく影響を受ける宿泊施設等観光業の人手不足が顕著な状態となり、3月末現在での月間有効求人倍率は、23か月連続で対前年同月を上回りました。特に「給仕、接客サービス員」の有効求人倍率は7.60倍と、北海道全体の数値を大きく上回っており、円安や入国者の上限撤廃、旅行支援策等が追い風となり企業側の人材確保に関する動きが活発になったと分析しています。

2 総合評価 (※)

標準的な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により正社 員に結びついた就 職氷河期世代の不 安定就労者・無業 者の件数	新卒者支援に係る 就職支援ナビゲー ターの支援による 新規卒業予定者等 (既卒者含む)の 正社員就職件数		
令和4年度目標	800	735	170	90	90	55	34		
令和4年度実績	775	730	193	73	93	47	29		
目標達成率	96.9%	99.3%	113.5%			85.5%	85.3%		

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク留萌 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「障害者の就職件数」の目標達成を最重要と考え重点的に進めてきました。特に就職促進を図る取組として、求職者個々の特性やニーズを的確に把握できるよう、きめ細かな職業相談・能動的な求人情報の提供、求人者には希望条件の緩和の提案や関係機関と連携しチーム支援を実施しました。その結果、令和5年3月末時点で年間の目標数である20件を上回る35件の就職に結びつけることができました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

新規求職者が減少傾向にある中、潜在的な求職者の掘り起こしやハローワークの利用者増を目的として、広報推進チームを立ち上げ、当所のホームページのリニューアルのほか、SNS（Twitter）の独自アカウントを取得し、平日の毎日の投稿を目標にし、地域に根差した就職や採用に役立つ情報発信を行っております。

この他、未充足求人の解消、求人者サービスの一環として、職業相談担当スタッフが事業所を訪問し、実際に働く現場を見学させていただき、事業所の採用担当者と人材確保の取組み等の意見交換を実施しており、求職者に対して、事業所のより詳細な情報を提供できるよう取り組んでおります。また、訪問させていただいた事業所の情報はSNSへ投稿する等広く情報発信するよう努めております。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

今後、オンラインを活用した求人・求職の申込みや職業相談の需要が増加する可能性があります。求人申込についてはオンラインの利用が増加しているものの、オンラインによる求職の申込やオンライン職業相談などの利用数は低調であることから、地方自治体をはじめ、関係機関と連携を図り、積極的なPR等に努めていきたいと考えております。

（4）その他業務運営についての分析等

当所管内は、国や地方公共団体等の公的機関が多数あり、他の地域と比べると労働力人口に占める公務員の割合が非常に高い地域です。さらに、人口減少と高齢化により生産年齢に偏りがあることから、地方自治体や関係機関とも連携を図りつつ、限られた労働力の中での人手不足分野への人材確保や、定着指導に有効な取組を検討し、実施していきます。

2 総合評価 (※)

良好な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	障害者の就職件数		
令和4年度実績	454 件	423 件	103 件	95.8%	93.6%	36 件	35 件		
令和4年度目標	510 件	475 件	80 件	90.0%	90.0%	40 件	20 件		
目標達成率	89.0%	89.1%	128.8%	-	-	90.0%	175.0%		

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク名寄 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

求職者サービスでは、求職者担当者制を中心とした課題解決サービスの強化や、遠隔地に居住する方でも利用しやすいオンライン職業相談の推進を重点的に取り組みました。

求職者担当者制では、雇用保険受給者や就職氷河期世代の求職者を中心に対象者の選定を行い、電話やダイレクトメールによる求人情報の提供、予約相談、応募書類作成・面接指導等の個別支援を積極的に実施しました。

オンライン職業相談については、これまで学生や遠隔地在住者を中心に実施していたところ、今年度から公共職業訓練受講者も対象に加え、ハローワークの窓口を利用しづらい状況の方々の利便性が向上するよう取り組みました。

求人者に対するサービスでは、求人充足対策として職業相談担当と求人担当の連携を強化し、求人充足会議を週1回実施した上、会議で取り上げた求人については、能動的なマッチングにより該当した求職者にダイレクトメールを送付するほか、求人担当者制により求人者に対して必要なフォローアップを組織的な取組として実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

職員の専門性の向上を目指し、若手職員の職業紹介業務研修、労働基準監督署職員を講師とした労働関係法令に係る研修を実施し、利用者に対する質の高いサービスを提供できるよう改善を図りました。

職業相談窓口において求職者マイページの開設を積極的に勧奨し、求職者が効率的に求人情報の閲覧等を行えるよう求職者マイページの利用促進を図りました。また、離職票交付時にオンライン求職登録に係るリーフレットを合わせて交付することにより、雇用保険受給手続きで来所する際は事前にオンライン求職登録しておくことを促し、窓口での待ち時間の縮減を図りました。

求人者に対しては、求人者マイページの利用を勧奨し、求人者が曜日や時間を選ばず求人申込み等を行うことができるよう求人者マイページの利用促進を図りました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新規求職者が減少傾向にある中、紹介件数、就職件数も減少しており、ハローワーク利用者の拡大が課題となっています。

ハローワークのサービスやオンライン登録について、ホームページや施設外での周知を行い、潜在的な求職者のハローワークの利用促進を図ります。

また、ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、求職者マイページ、求人者マイページについて引き続き利用促進の取組を実施するとともに、求職者に対しては求職者担当者制やオンライン職業相談を積極的に実施し、個々のニーズを捉えたきめ細かな支援を行うよう取り組みます。また、求人者に対しては求人担当者制により未充足求人に対する必要なフォローアップを実施し、求人充足サービスのさらなる向上を目指して取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

新規求職者数に対する紹介率が年々低下傾向にあることから、職業相談窓口において個々の求職者に合わせた課題解決支援を丁寧に行うとともに、積極的なマッチングにより求人情報を提供するほか、求職者にわかりやすい魅力的な求人づくりが必要と考えています。

2 総合評価 (※)

良好な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職業紹介 により、正社員に結びつ いた就職氷河期世代の不安 定就労者・無業者の件数	新卒者支援に係る就職支援 ナビゲーターの支援による 新規卒業予定者等(既卒者 含む)の正社員就職件数
令和4年度実績	761	708	205	78.8%	94.3%	111	63
令和4年度目標	780	745	170	90.0%	90.0%	50	67
目標達成率	97.6%	95.0%	120.6%	-	-	222%	94.0%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク浦河 就職支援業務報告（令和5年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

- ・ 主要指標（就職件数、充足数、雇用保険受給者の早期再就職件数）の目標達成に向けて、求職者担当者制を重点的に取り組みました。求職者が抱える課題も多様化し、個々の求職者に合わせた支援が求められており、担当者を決めて相談を進めるのは効果がありました。また、雇用保険受給者の方には、失業の認定日に合わせて、事前にマッチングした求人を情報提供することで、就職・充足に繋げることができました。
- ・ 基幹産業である軽種馬産業の人材確保対策を強化するため、従来から作成している「牧場求人情報」をリニューアルしました。仕事内容の解説や管内自治体の紹介等を加え、ホームページにも掲載し全国どこからでも閲覧できるようにしました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・ デジタル化、オンライン化の推進のため、「求人者マイページ」からのオンライン求人申し込みを積極的に進めました。また、「オンライン職業相談」の周知をホームページ等で行い、当所管内で就職したい方に対し、情報発信を積極的に行いました。
- ・ ホームページをリニューアルし、管内の求人が素早く見られる「かんたん求人検索」の機能を追加しました。また、ホームページ内にハローワークインターネットサービスのリンクを貼り、「求人者マイページ」と「求職者マイページ」の箇所への遷移を容易にし、周知に努めました。
- ・ SNSを使った情報発信強化のため、Twitter「ハローワーク浦河【公式】」を開設しました。また、軽種馬関連団体や牧場関係者の方からも当所の取組に関心を寄せていただき、その周知にご協力をいただいております。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・ 当所の令和4年度の有効求人倍率は1.71倍となっており、人手不足の状況が続いています。今後、新型コロナウイルス感染症の雇用と与える影響が減少し、人手不足が深刻になることが想定されます。求人を充足するためには、求人票以上の情報を収集し、それを求人・求職のマッチングに活かしていくことが効果的であり、事業所訪問を積極的に実施し、収集した情報を職業紹介に活用していきます。
- ・ ホームページやTwitterによる情報発信については、現代社会においては効果的なツールではありますが、画一的な内容に陥らないよう定

期的に検証し、効果的な発信に努めていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

当所管内の5町では、少子・高齢化等による人口減少が進み、働き手の減少による労働市場のアンバランスが今まで以上に大きくなることが見込まれます。地域の産業・雇用を維持していく意味でも、日高振興局や自治体、業界団体等と連携し地域ぐるみで様々な課題に向き合い、その解決に役立てるよう、ハローワークとしての役割を果たしていきたいと考えています。

2 総合評価 (※)

標準的な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	④ハローワークの紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	③新卒者支援に係る就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等(既卒者含む)の正社員就職件数	所で選択して記載	所で選択して記載
令和4年度実績	643	592	104	100%	92.5%	34	35		
令和4年度目標	700	645	120	90%	90%	45	52		
目標達成率	91.9%	91.8%	86.7%	-	-	75.6%	67.3%		

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人者の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク網走 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

就職、充足が低迷を続けていたことから、その原因分析に努め、大きな要因となっている紹介件数、相談件数の減少を抑えて増加に向かうよう取り組みを行いました。

- ・求人数は新規、月間有効ともコロナ前を上回る値になっていますが、紹介件数が伸びていません。応募・紹介に結びつけるために何が必要か、どのような求人であれば求職者が応募を検討するか等の「求職者ニーズを把握」するためのデータを収集、蓄積を図ることとして、求人者へ求人条件の改善をアドバイスする際の資料を作成することにしました。

- ・求職者数はコロナによる経済活動停滞等から年度により増減の波が生じていますが、全体的な傾向としては人口減少、高齢化等から減少傾向が続いています。これまで、求人情報の閲覧のみでハローワークを利用したことがない方、利用したことがあっても窓口での相談・紹介等を活用していない方等に、最新の求人情報を速やかに提供できるように努め、ハローワーク利用者の増加につなげるよう取り組みました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワーク利用者の増加、利便性の向上を図るため「ハローワーク網走」のホームページを改修し、来所だけではなく、オンラインによる手続きや相談等も活用するように周知を図りました。

- ・求職者が管内の求人情報を検索する際、ネット環境がない方、ハローワークインターネットサービスの操作が難しい方は、来所して窓口で相談する他は管内17か所に配置している「週刊」、「月刊」のハローワーク求人情報に頼らざるを得ませんでした。ホームページ改修に合わせて「かんたん求人検索」を導入し、パソコン、スマートフォン等の簡単な操作により最新の求人を検索できるように改善を図りました。

- ・管内でも遠隔地に居住している方、在職中のため来所時間の確保が難しい方等が相談しやすくなるよう、雇用保険受給者への説明会、当所ホームページ等を利用してオンライン相談の積極的な利用勧奨を行いました。

- ・FAXの利用削減、来所せずにできるオンライン手続きを推進するため、事業所の方の求人手続きを求人者マイページに移行するよう働きかけました。

求人更新案内時や当所ホームページのリニューアル時に「事業主向けページ」を作成し、求人者マイページ・電子申請利用勧奨の文言を記載、案内リーフの掲載、マイページ開設・ログインにジャンプするボタンの配置など移行に応じていただける事業所の方の利便性に配慮しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・周知、勧奨しているオンラインでの求職登録や相談について、利用が伸びていません。来所しての求職登録、職業相談が浸透しているためと思われ
ますが、民間の求人情報検索サイトと同様にハローワークインターネットサービスを気軽に活用してもらえよう効果的な周知、広報を模索し、
来所、オンラインを問わずに利用者数向上に努めます。
- ・数多くいただいている求人の充足には紹介を増やす必要があり、そのためには求職者の応募意欲が湧く内容に求人条件を改善して行く必要があると
考えます。求職者ニーズを的確に把握・分析するためのデータ収集、蓄積を継続し、求人者への情報提供・指導の材料を整えて活用を図ります。
- ・求職者、求人者それぞれのマイページ開設・活用をサポートし、オンライン等の利用を推進しますが、来所による利用、窓口での相談を希望する方
に対しては、担当者制等による丁寧な支援を行い、ハローワークの利用維持・促進に努めます。

(4) その他業務運営についての分析等

新規感染者数が落ち着き、社会全体が新型コロナウイルスの影響から脱しつつありますが、当所管内では、令和4年4月に発生した「観光船事故」
がオホーツク地域の観光業界全体に暗い影を落とし、全国、道内他地域より回復が遅れています。

旅行支援、インバウンド需要の回復、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症分類変更等により、当所管内でも観光客の増加、それに伴う観光
業界の人手不足が予想されるため、従来から人手不足分野とされている建設・介護等を含めて、イメージにとらわれない職業選択、求職活動を促し、
就職・充足の促進を目指します。

2 総合評価 (※)

標準的な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により正社 員に結びついた就 職氷河期世代の不 安定就労者・無業 者の件数	障害者の 就職件数		
令和4年度目標	650	645	140	90	90	55	49		
令和4年度実績	645	634	163	100	87	32	52		
目標達成率	99.2%	98.3%	116.4%			58.2%	106.1%		

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク苫小牧 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

依然として新型コロナウイルス感染症による影響から例年と異なる対応を求められる中ではありましたが、当所では、就職件数、充足数などの目標を達成するため、求職者については求職者担当者制によるきめ細かな個別支援に重点的に取り組んだほか、求職者ニーズの的確な把握に努めるとともに、正社員求人を中心とした求人情報の提供、応募書類の添削指導や面接選考に向けた助言・指導などを積極的に実施しました。

また、求人者へは、管内の雇用失業情勢を説明のうえ求職者ニーズに応じた求人条件の緩和等を積極的に進めるとともに、求人充足会議と連動した求人担当者制による求人充足の促進を図る取り組みを実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

所ホームページにおいて、簡便な求人検索ができる「かんたん求人検索」ページを作成した他、所内及び各自治体施設等において紙媒体で提供していた求人情報誌を所ホームページ上にも掲載することにより、新規求職者の取り込みや求人検索の利便性の向上を図りました。

また、求職者支援をより効果的に実施するため、様々な支援方策を検討する事例検討会を積極的に開催することにより、相談スタッフの相談技法の向上を図りました。

求人者に対しては、昨年度までコロナ禍により見送っていた事業所訪問を再開したことにより、求人者との信頼関係の構築を図り、求人票以上の情報を収集し所内で共有することにより、求人者の充足可能性を高める取り組みに努めました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職活動・採用活動のオンライン化が進んできていることから、ハローワークインターネットサービスの各種機能を活用し、マッチング機能の強化を図ります。

具体的には、求職者、求人者ともにマイページの開設を促したうえで、求職者に対してはオンラインによる各種就職支援や職業相談を進めるとともに、引き続き丁寧かつきめ細かな職業相談を心掛け、求職者担当者制等による職業相談の活性化に努めて参ります。

求人者に対しては、オンラインを利用した求人申込等の利用支援に取り組むとともに、求職者ニーズを捉えた求人開拓や求人充足会議等による求人充足対策に取り組んで参ります。

(4) その他業務運営についての分析等

令和4年度においても、長引くコロナ禍の影響からか、求職者の方々の中には応募に慎重な様子も見受けられ、紹介件数が減少したことから、就職件数、充足数ともに前年度を下回りました。

今後はコロナ禍を理由とした活動抑制も減少していくことが想定されるため、より多くの方にハローワークを利用していただけるよう、各種支援サービスの周知を図り、それぞれの状況や態様に応じた、担当者制を中心としたきめ細かなサービスを提供することにより、就職の促進に努めて参ります。

今後においても、求職者ニーズの変化を的確に把握し、ニーズに応じた求人開拓の実施とともに、求人条件の見直しや、安心して働ける職場環境の整備に対する助言などにも積極的に取り組み、状況に応じた就職支援と求人者サービスを推進して参ります。

2 総合評価 (※)

標準的な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職業紹介により正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	障害者の就職件数	新卒者支援に係る就職支援ナビゲーターの支援による新規卒業予定者等(既卒者含む)の正社員就職件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率
令和4年度目標	2,600	2,570	940	90.0%	90.0%	240	161	271	94.0%
令和4年度実績	2,517	2,402	846	82.8%	93.1%	243	177	272	95.1%
目標達成率	96.8%	93.5%	90.0%			101.3%	109.9%	100.4%	101.2%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク根室 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 新型コロナ感染禍におけるオンライン相談の取り組み

管内は、高齢者比率が高く、通信環境も3Gから5Gへ切り替え中、中標津、別海町は市街地の光回線化が終ったばかりで、求人情報紙等へのオンライン相談の周知にも希望者が少ない状況です。

感染禍で新規求職数の減少が人口減少を大きく上回るため、「来所しない方法による相談・紹介の徹底で、コロナ前の相談件数の維持に努めるよう」指示し、オンライン登録者に働きかけ最大限ハローワーク登録を誘導し、電話相談と通信紹介を積極的に実施しました。

② 人口減少下で持続可能な労働力確保の取組の模索と学卒者を含む若年者の地元就職及び定着支援対策における管内自治体・事業主団体との事業連携

「根室市」は市役所が、「中標津町ほか4町」は商工会（中標津町商工会等）が事務局として協議会が作られており、協議会の一員としてその準備や事業拡大の中核を担っています。

「若年者の地元就職」が重視される中、高校生の見学、説明会、面接会等を共催するほか、①「地元企業再発見フェア（中学生体験学習）」を主催し、市・中学校・同友会と準備を進め（3年連続感染拡大で中止）、②当所の提案で「中標津町ほか4町」主催の企業説明会の参加対象を学生だけに限定せず一般求職者へも対象を拡大し、③3年生1学期に関係機関の各事業が集中し効果的でないため、「説明会を2年生のインターンシップ前に」「3年生が応募を決める前に訪問見学する」方向で事業を見直しており、④6年4月開校予定の岩谷学園IT専門学校の入学案内と卒業後の地元就職につなげる連携を自治体、学校、事業主団体と構築中です。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

① オンライン登録者をハローワーク利用登録者に切り替え、HW窓口における各種サービスの提供やe-ラーニング等各種職業訓練の情報提供を実施

② 求人者マイページの利用促進と、求人者に対する雇用管理改善の指導を行い、求職者から見て魅力的かつ応募したいと思われる求人票の作成支援や様々な提案を行うことで、相談内容に対して大幅に利用効率を上げました。

また、窓口や郵送による利用促進を進捗状況に応じ随時実施し、事業所から要望があった場合は、担当職員や所長自らが事業所を訪問し利便性や操作方法の説明を行った結果、オンライン利用率は令和4年11月末時点3.9%から令和5年3月末時点7.3%へ大幅に上昇しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

① 学卒者を含む若年者等の地元就職及び定着支援対策における管内自治体・事業主団体との連携強化とデジタル化の推進に伴う業務改善

人口減少下で管内1市4町は「持続可能な取り組み」を重視し雇用対策事業に取り組んでおり、特に「若年者の地元就職」を重視しています。引き

続き、管内の連携事業の推進を図るとともに、対象を「高校生」から「学生・一般求職者」へ拡大し、令和6年4月開校が予定される「岩谷学園IT専門学校」の入学案内と、令和8年3月卒業予定者の地元採用について、管内および近隣地域への周知を行い「若年者の地元就職」に結びつくよう取組めます。

また、求人者マイページの利用促進を令和5年度も継続し、求人者に対する雇用管理改善の提案については、事業所のニーズ実情にあった内容とし、オンライン登録者をハローワーク利用登録者に切り替え、利用していただいた際は、窓口職員から求職者に寄り添った相談を実施する等のサービス改善・向上に引き続き努め、ミスマッチの解消等に取り組むことで「ウィズ・コロナ」「アフター・コロナ」を見据えて、デジタルとアナログの融合による業務改善を進めて参ります。

3 総合評価 (※)

標準的な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職業紹介により正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	人材不足分野の就職件数		
令和4年度目標	1,055	1,045	240	90%	90%	95	169		
令和4年度実績	1,072	961	231	71.4%	95.5%	109	193		
目標達成率	101.6%	92.0%	96.3%			114.7%	114.2%		

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク札幌東 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、下表の「マッチング関係業務の成果」の目標達成を目指して、主に下記の取り組みを行いました。

特に、受給資格決定件数（雇用保険受給者の求職申込件数）が全道で一番多い当所においては、雇用保険受給者早期再就職件数の目標達成を最重要と考え、雇用保険受給者の紹介成功率アップを重点的に進めることとし、前年比2.3ポイントアップの28.0%と札幌圏のハローワーク（札幌、札幌東、札幌北）の中で、最も高い実績を上げることができました。（※紹介成功率＝就職件数/紹介件数）

（ア）求職者担当者制の積極的実施

1人の求職者に対して担当者を定めて一貫した支援を行いました。（対象者572人、うち紹介就職件数491件）

（イ）求人への提案などの能動的なマッチングの推進

ダイレクトメールによる求人情報提供を行いました。（対象者1,183人、うち紹介件数402件）

（ウ）求職者の就職の妨げとなる課題の特定と課題解決支援サービスの提供

数多くの窓口相談から様々な課題解決事例を蓄積・共有し、個別支援に活用しました。（事例共有34回、参加スタッフ累計190人）

（エ）求人充足・人材確保等求人者支援の充実

人材不足分野の医療・福祉を中心とする小規模複数回のミニ会社説明会・ミニ面接会を開催しました。（実施11回、参加21事業所）

※参加事業所から「求職者の複数参加があり応募もあって、感謝しています。開催を継続してほしい。」などの要望をいただいています。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、スタッフの専門性向上を図り、ハローワーク利用の拡大を目指して、主に下記のスタッフ向け研修を実施しました。

（ア）オンラインサービスの普及・定着に向けた「機能体感研修」

オンラインハローワーク紹介、オンライン自主応募などのハローワーク専用機器の新機能を学習しました。（参加スタッフ61人）

※来所しなくてもハローワークの紹介が受けられる「オンラインハローワーク紹介」などのサービスを提供します。

（イ）ハローワーク・ザ・チェンジ推進に向けた「若手育成研修」

新しいアイデアを提案できる人材の育成研修とともに、チーム力を向上させるミーティングを行いました。（実施5回、参加者累計13人）

※ハローワーク・ザ・チェンジとは、利用者ニーズに基づく様々なサービスの改善とデジタル広報の活用等によるサービス拡大の取り組みです。

（ウ）雇用保険受給者の早期再就職促進に向けた「再就職手当の活用研修」

雇用保険受給者に対する分かりやすい説明が可能となる知識習得のための研修を行いました。(実施16回、参加者38人)

(エ) ハローワーク活用に向けた「職業訓練知識向上研修」

公的職業訓練の効果的な受講案内に必要な知識や技能のレベルアップを図る研修を行いました。(実施30回、参加者累計103人)

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

当所では、日常的にハローワークサービスの改善や業務改善を行っており、特に下記の取り組みを実施しました。

① オンラインサービス普及・定着に向けた取組

ハローワークのマッチング機能強化のため、求人者及び求職者向けオンラインサービスの環境整備を進めています。

<求人者向けサービス>

ハローワークインターネットサービス上に「求人者マイページ」開設により、オンライン上での求人申込みや職業紹介が可能となりますので、求人充足までの流れが容易になります。

※令和4年11月から令和5年3月までの求職者マイページ普及強化の集中的取り組みを実施しました。(オンライン利用申込率91.8%)

<求職者向けサービス>

ハローワークインターネットサービス上に「求人者マイページ」開設により、オンライン上でのハローワーク紹介が可能となることやハローワークの職業紹介を受けずに直接の応募が可能となりますので、在職者を含めたマイページ登録者の利便性が向上します。

② 北広島ボールパーク関連求人の収集への取組

令和5年3月に開設された北広島市の「エスコンフィールド(ボールパーク)」関連の求人情報を収集して、地域活性化への貢献を目的として全国のハローワーク求人部門と連携の上、マッチングに努めています。

(令和5年3月末 確保求人数525人、紹介件数55件、就職件数16件)

③ 人材確保対策コーナーの新規設置

令和4年7月から「人材確保対策コーナー」を設置し、医療、福祉分野を中心とした人材確保対策を強化するため、「会社説明・ミニ面接会」の開催による充足支援、予約制・担当者制による個別就職支援を、求人者・求職者双方の担当者が緊密に連携し、取り組んでいきます。

④ オンラインセミナーの新規開講

オンラインによる受講申込とオンラインによる受講を可能とする所独自セミナーを新規に開講しました。

※「ハローワーク活用オンラインミニセミナー」を、3回実施(3か月に1回程度)、11人受講

「手順を踏んでポイントを知れたので、インターネットサービスが便利に利用できそうです。」などの評価をいただいています。

⑤ 広報サービス向上の取組

広報推進チームを立ち上げ、ホームページの内容を充実させた他、Twitterの運用を開始し、最新情報をリアルタイムで発信できるよう、広報サービスの向上に取り組みました。また、「かんたん求人検索」機能を掲載することで、誰もが気軽にハローワーク求人に触れていただく機会を

設ける等、改善を行いました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

就職件数・充足件数のほか、就職率・充足率が減少傾向にあることから、今後、下記の取り組みを実施します。

① オンラインサービスの推進

ハローワークの利用向上を図るため、引き続き求職者マイページの利用促進に取り組み、オンライン紹介など求職者サービスを推進します。

② 長期療養者就職支援事業に係る提携病院の開拓

支援窓口を利用する求職者へのサービス向上を図るため、新たな病院を開拓して協定の締結に取り組み、利用者拡大を目指します。

(4) その他業務運営についての分析等

令和4年度においては、新規求人数の増加の傾向が見られ、新型コロナウイルス感染前である令和元年度の数値に戻りつつある状況となりました。

しかし、求職者については、新規求職者数が7月から7か月連続で、前年同月を下回るなど減少傾向が見られ、それに伴い紹介件数も減少するなど、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、求職者の応募控えの傾向が見受けられた結果、就職件数、充足数とも目標達成に至りませんでした。

今後は、就職率向上の取組として、受給資格者が手続で来所する機会を活用した「認定日相談」の内容を充実させ、雇用保険受給者の相談件数・紹介件数を増加させるようにいたします。また、充足率向上の取組として、求人開拓は求職者ニーズがあるが求人が少ない職種に重点化するとともに、ハローワークを利用して人材確保を行おうとする事業所の求人の充足支援を強化することといたします。

<参考> 令和4年度の就職件数	5, 267件	就職率	16.6%
令和4年度の充足数	4, 869件	充足率	9.1%

2 特記事項

札幌圏のハローワークの中の当所の特色は、他所に比べ管轄内に事業所数が少ない反面、住宅が多く存在し求職者が多いため、「求職者型のハローワーク」と、表現することがあり、月間有効求人倍率の数値を見ると、違いが分かります。

また、出先機関として「ハローワーク江別」を配置しているのが当所の特徴です。(実績値は出先機関、附属施設「ジョブガイド北広島」を含みます。)

<参考 月間有効求人倍率> ハローワーク札幌 0.99%、 ハローワーク札幌北 0.83%、 ハローワーク札幌東 0.75%

① ジョブガイド北広島は、令和5年3月17日に移転し、リニューアルオープンいたしました。

JR北広島駅西口徒歩1分の北広島ターミナルビル3階に、セミナー室を完備するなど、フロア全体の面積を拡大いたしました。定期的に就職活動に有用なセミナーやミニ面接会のどのイベントを計画しておりますので、是非、足をお運びください。

② 公的職業訓練修了3か月の就職件数

全道一の実績値698件（目標達成率125.3%）となりました。興味のある方は、訓練相談窓口にお気軽にご連絡ください。

3 総合評価 (※)

良好な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職業 紹介により正社員に 結びついた就職氷河 期世代の不安定就労 者・無業者の件数	生活保護受 給者等の就 職率	障害者の就 職件数	新卒者支援に係る就 職支援ナビゲーター の支援による新規卒 業予定者等(既卒者 含む)の正社員就職 件数	公的職業訓 練修了3か 月後の就職 件数	マザーズハローワー ク事業における担当 者制による就職支援 を受けた重点支援対 象者の就職率
令和4年度目標	5,950	5,180	3,550	90.0%	90.0%	550	63.0%	764	199	557	94.0%
令和4年度実績	5,267	4,869	3,549	72.9%	92.9%	579	74.0%	798	208	698	95.0%
目標達成率	88.5%	94.0%	100.0%			105.3%	117.5%	104.5%	104.5%	125.3%	101.1%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク札幌北 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「就職件数」、「充足数」、「雇用保険受給者の早期再就職件数」の目標達成を最重要と考え、次のとおり重点的に取組を進めています。

・「就職件数」については、求職者担当者制による個別ニーズに応じた適切な支援の実施、一般相談窓口において個別支援の必要性があると判断した者への予約制による相談、事前マッチング、応募書類の作成指導、面接トレーニング等を中心とした支援の実施、さらに、相談窓口における求職者の状況に応じたプラス1アプローチなど能動的なマッチングを実施しています。

・「充足数」については、従来の求人充足会議を①求人充足、②求職者支援、③職業紹介と求人受理両方の情報共有を目的とした求人・求職マッチング会議へ再編し、選定求人の充足に向け、求人条件緩和の提案、求人担当者制による求人充足サービスを実施しています。

・「雇用保険受給者の早期再就職件数」については、雇用保険初回認定日における全員相談を実施し、専門スタッフを中心とした求職者担当者制や各種サービスのあっせん及び提供、雇用保険給付制限中の来所勧奨など、早期再就職に向けた支援を行っています。

・人手不足分野の就職支援として、業種・職種の転換を視野に入れた相談を行う「JOB-チェンジサポートコーナー」での個別支援を強化し、再就職を促進しています。

・就職氷河期世代の求職者の就職支援として、ニーズを把握し職業訓練への誘導及び職場実習・体験への参加勧奨等を行っています。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

・「JOB-チェンジ」サポートコーナーにおいては、支援対象者に対し、傾聴に努め、本人の希望や課題（不安）などを把握し、相談時に人材不足分野への職種転換の提案も行なったほか、能力開発が職種転換に必要な場合などに各種職業訓練の内容及び支援制度等の説明を行う体制を整え、相談を行っています。

・人材不足分野のミニ面接会を所内で定期的で開催し、求職者の誘導を図り、充足を促進しています。

・毎週、介護職・看護職・保育士及び幼稚園教諭の求人情報誌を発行し、人手不足分野に対する充足サービスを実施しています。

・雇用保険初回認定日の相談において、全員に「日刊ハローワーク求人情報」を提供し、興味のある職種を確認する取組みを行い、個別支援対象者に対しては予約相談の際に事前マッチングを実施して希望職種の幅を広げるなどの対応を実施しています。

・就職氷河期世代の職場実習受入事業所の確保のため、事業所部門による求人申込み事業所へのリーフレット配布、当所でミニ面接会を行

った事業所への依頼、労働局と連携した新規開拓などに積極的に取り組んでいます。

- ・ 職員の専門性を高め求人事業所情報の蓄積を図るため、職員による事業所訪問に係る年間実施計画を策定し職業相談部門と求人受理部門が連携した事業所訪問を実施しています。

- ・ 求職活動の利便性向上を目的として、職業相談窓口において、求職者マイページの開設及び利用勧奨を積極的に推進しています。

- ・ 求人充足会議を①求人充足、②求職者支援、③職業紹介と求人受理両方の情報共有を目的とした求人・求職マッチング会議へ再編し、選定求人の充足に向け、求人条件緩和の提案、求人担当者制による求人充足サービスを実施しています。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・ 職業相談窓口においては、積極的な求人情報の提供、能動的マッチング、求職者担当者制等の就職支援サービスを継続して実施します。

- ・ 求人充足については、令和4年度の取組（求人・求職マッチング会議、求人担当者制等）の効果を検証し、実施すべき内容を決定し、積極的に取り組んでいきます。

- ・ 求人者マイページの利用促進、求人充足に結び付けるための具体的な事業所情報の蓄積及び求人開拓を目的とした事業所訪問を継続して実施します。

- ・ 積極的な職業訓練の受講を促すため、引き続きポスター掲示、リーフレット配架、所内においてサイネージによる視覚的情報の提供等を行っています。また、各課部門に常に情報提供を行い職業訓練が効果的な求職者を積極的に担当部門に誘導する取組みを継続します。

- ・ 離職者等の再就職促進のため、「JOB-チェンジ」サポートコーナーを中心とした業職種転換に係る支援や就職支援ナビゲーターによる個別支援を引き続き実施します。

- ・ 所員の資質・専門性向上のため、各種研修会の実施や参加を強化します。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・ 新規求人については新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、経済活動の活発化に伴い引き続き増加が予想される一方、少子高齢化の進展に伴う求職者の減少傾向にある中、新型コロナウイルス感染症の行動制限が解除となったこと及び円安や原材料価格高騰からの物価上昇、家計負担の増加などの影響から求職者が増加することも考えられるなど、地域の労働市場の今後の見通しがはっきりしない状況ではありますが、引き続き利用される求職者の方に寄り添った確かな求職者ニーズの把握に努め、丁寧かつきめ細かな個別支援、雇用保険受給者に対する効果的な就職支援メニューの提供を行い、再就職と求人充足の支援に努めます。

2 総合評価 (※)

標準的な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	障害者の 就職件数	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	公的職業訓練修了 3か月後の就職件 数	生涯現役支援窓口 での65歳以上の 就職件数
令和4年度実績	3,458	4,009	2,511	77.3%	98.9%	519	714	378	225
令和4年度目標	3,685	4,495	2,380	90.0%	90.0%	481	540	296	230
目標達成率	93%	89%	105%	—	—	107%	132%	127%	97%

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク千歳 就職支援業務報告（令和4年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

ハローワークシステムの刷新による求人の検索・閲覧方法や、コロナ禍の影響による対面以外の方法による求職活動など、その選択肢が広がったこと等もあり、来所利用者の減少傾向が続いている。

こうした変化する求職者の利用ニーズに対応するため、ハローワークのサービスを知ってもらうことや、来所につながる情報の提供を目的に、ホームページやSNSによる広報活動に取り組んだ。

そのうえで、就職件数、充足数などの目標を達成するため、求職者担当者制による個別支援の取組み、特にDMや電話等による求人情報の提供や応募書類添削指導、面接に向けた助言・指導などを積極的に実施した。

雇用保険受給者に対しては、認定日全員相談を行い、求職活動の進捗状況の確認や求人情報の積極提供等を行うなど早期再就職の促進に努めた。

従来から取り組んできた、早期再就職に資する所独自セミナー（ミニセミナー、書類作成コース、面接コース）は、今年度より対面とオンラインの両方に対応できるよう手法を見直し、新型コロナウイルス感染症のリスクが残るなかにあっても参加のしやすさを向上させた。

また、今年度からは、障害者を対象とした所独自セミナー（ミニセミナー、書類作成コース、面接コース）にも新たに取り組んでいる。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

システム刷新に伴い、来所する求職者はハローワークの検索パソコンを使用しなくても、既に求人情報を検索している場合が多いことを念頭に総合案内での案内方法を見直し、まずは窓口にご案内する。検索パソコンを利用する方でも、利用後には窓口にご案内することを基本とした。

公式ホームページは、利用しやすいように大幅に見直しを行った。特に求職者向け情報は閲覧デバイス（スマホ等）に応じたリサイズ調整や「かんたん求人検索」機能を設けたほか、各種セミナーや会社説明会などイベント情報の掲載内容を拡充した。それまでは羅列的であった掲載内容を内容ごとに分類し、さらに分類した項目をアイコン的に表示するようデザインを工夫したことで、アクセス件数も大幅に向上した。

求人者向け情報もハローワークインターネットサービスの利用方法や求人の申し込み方法などを掲載し、また助成金、公正採用選考、雇用保険などの情報ページにもアクセスできるようにするなど、情報の拡充と分野ごとの集約を図った。

ハローワークを知ってもらい、利用の促進を図ることを目的にSNS（LINE、Twitter）の公式アカウントを開設した。LINEに関しては、セミナーなどのイベント情報を投稿するほかに、知りたい情報をトークで投げかけてもらうことで、適切な情報を返答する機能を持たせ利便性の向上を図っている。Twitterは、ハローワークに親しみを持ってもらえるよう、イベント情報などの業務に関する広報だけではなく、地域のちょっとした出来事など業務

以外の内容の投稿も混ぜるよう心掛けている。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

来所利用者が減少しているなかで、来所利用にこだわらない利用者の獲得も進めていく必要があると考え、ホームページや SNS、地域へのリーフレット配布などの方法により、オンライン登録者数拡大のための周知を図っていく。

現在、求人者マイページの利用を積極的に進めているところだが、求人者マイページのメリットを最大限に活用するためには、求職者のマイページ登録と求職公開等も広げて行く必要がある。

さらには、オンラインでの職業相談、マイページ職業紹介も展開し、地理的に来所しての求職活動が不便な求職者に対する利便性を高めることも必要である。

こうしたサービスの改善を進めるためには、スタッフのオンライン活用スキルの向上やノウハウの蓄積・共有、さらには、求職者へのわかりやすい説明方法等の向上を図る必要がある。

そのうえで、従来以上に充実した窓口相談、担当者制による個別支援を展開できるよう、準備・検討を行う必要がある。

(4) その他業務運営についての分析等

管内自治体等と連携し取組んでいる「高校生のための職業相談会」、「人手不足分野での就職相談会」等のマッチングイベントの継続について要望があり、引き続き連携を密にし、取組を進めたい。

今年度大幅に拡大した広報業務（ホームページ、SNS）に関して、閲覧者数が増加の傾向にあり、ホームページ・SNS から情報を得たというケースも出始めている。効果が見え始めている一方で、更新、投稿などのメンテナンス作業が必要であり、今後継続的な運用を維持していくための方法の確立と、それを担う人材の育成が課題である。

コロナ禍前には 9,000 人以上が就業していた新千歳空港は、空港利用者数が戻りつつあるものの就業者数はいまだ 7,000 人程度にとどまっており、観光関連などを含め関係する事業者からは人手不足感が出てきているとの声も聞かれる。

また、コロナ禍にあっても人手不足が継続していた、建設業や医療・介護分野への対応、物価高により新たに求職活動を始めることが見込まれる主婦層や高齢者層への対応のほか、人口減少と高齢化が進む夕張出張所管内の求職者・求人者双方への対応等、地域的な課題も少なくない。

さらには、2月末に千歳市に次世代半導体工場を建設すると発表した Rapidus（ラピダス・東京）は、関連産業を含めると数千人規模の雇用が見込まれるとしており、半導体の量産を待たずに建設工事等を含め近隣地域において多業種での相当の人手不足が懸念されるところで、需給調整機関としての役割が増大するものと考えている。

2 総合評価 (※)

標準的な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職業紹介により正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	⑥公的職業訓練修了3か月後の就職件数	⑨生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数	
令和4年度目標	1,750	1,565	770	90	90	180	70	70	
令和4年度実績	1,701	1,533	698	61.4	90.8	132	113	76	
目標達成率	97.2%	98.0%	90.6%			73.3%	161.4%	108.6%	

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率